新京日日新聞
夕刊 八月二十七日
本紙一部五錢 一ヶ月壹圓五十錢 廣告料金 普通一行壹圓五十錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話(編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇)
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

重爆二機又も撃墜
敵の空軍殆んど全滅
上海上空陸軍機の活躍

【上海廿六日發國通】廿五日夕刻上海上空に敵のコルチス重爆撃機三機飛來したが、わが陸軍機は直ちに出動これを追跡して一機を撃墜し眞茹上空で殘り二機と壯烈なる空中戰を演じて兩機を撃墜した、これで小癪にも虹口上空を脅威してゐた敵の優秀爆撃機は殆んど全部潰滅に歸した譯である

虹口襲撃機遁走

【上海廿七日發國通】廿六日午後十一時五十五分敵飛行機一機は突如虹口上空に飛來し爆撃を行はんとしたが、わが方の射撃を浴び廿七日午前零時五分無爲にして遁走した

戰局の中心上海東北方に

【上海廿六日發國通】わが陸軍の上陸以來戰局の中心は上海東方および北方に移つた感あり、廿六日朝來同方面一帶銃砲聲旺んである

嘉定城内密集區城
わが軍の爆撃に大火災を起す

【上海廿六日發國通】嘉定方面より廿六日上海に避難して來た支那人の談によれば、嘉定城内の支那軍密集區域一帶は日本軍飛行機の爆撃により大火災を起し、目下盛んに燃えつゝあり、城外數ヶ所にも火災を生じてゐる

空軍〇〇方面の爆撃を續行
敵の輸送列車數十を爆破

【上海廿六日發國通】第〇艦隊報道班午後九時發表

一、陸戰隊方面は依然滿を持して對峙中であるが、わが空軍は〇〇正面の敵に對し旺んに爆撃を續け、南昌、崑山、閔江方面の敵ならびに軍需輸送中の敵の列車數十輛を爆破した

一、廿六日の英國大使の奇禍に對し第〇艦隊司令長官は杉山參謀長をして廿六日夕刻英國東洋艦隊旗艦を訪問せしめ見舞の意を傳へしめた

黄浦江沿岸の殘敵
逐次掃蕩さる

【上海廿七日發國通】廿六日從來の消極的態度を捨て積極的に前進を開始し、飛行機爆撃の掩護下によく〇千米を進出〇〇〇を占領したわが陸戰隊〇〇部隊は敵の逆襲に備へ警戒を嚴にしたが、敵は反撃の模樣なく平穩に過ぎた、わが部隊は〇〇方面に進出しつゝあり黄浦江沿岸地帶の殘敵は逐次掃蕩されてゐる

沿岸交通遮斷第一回の實行

【上海廿七日發國通】支那側報道によれば、上海に本店を置く寧波輪船公司所有船一隻は我海軍沿岸交通遮斷の實行に遭ひ廿六日上流入港を阻止された、わが交通遮斷第一回目の實行を受けたものである

渡邊准尉等重傷

【多倫廿六日發國通】廿二日の長城線附近における戰鬪において〇〇部隊は左の重傷者を出した

渡邊仁之助准尉(鹿兒島縣始良郡敷根村)右胸部盲管銃創
曾山行雄准尉(長野縣松本市萩町)右上膊部貫通銃創
高橋利左衞門准尉(秋田縣雄勝郡東成瀬村)右大腿部貫通銃創
及川時雄准尉(東京市下目黒)右頭部及右胸部貫通銃創及右足部負傷

全滿記者聯盟代表北平發天津へ

【北平廿六日發國通】高柳弘報協會理事長以下四名の全滿記者聯盟代表一行は廿五日在平關係機關を歴訪、特に新聞通信社、支局を訪問、激勵の言葉を述べ夜は大使館森島參事官の晩餐に出席したが、廿

米ベランカ機廿臺
支那に向け積出さる

【ニューヨーク二十五日發國通】デラウエーア州ニューキヤツスルのベランカ飛行機製作會社は數日前ベランカ機二十臺を支那に向け積出したことが廿五日判明した、同社社長ベランカ氏は輸出先については口を緘して語らないが、同飛行機は二人乘低翼單葉機で時速二百八十哩、積載量二千四百ポンド、プラツト・ウイトニイル九百馬力發動機を有する優秀機で軍用、商業用にも使用され得るものである

右飛行機は最初フランス航空會社の註文で製作したものだが、スペイン人民戰線軍に賣却されることが判明したゝめ送り出しを見合せてゐたものである

關東軍空軍銀翼を連ね
平綏線一圓の敵軍を空爆

【張北廿六日發國通】關東軍空軍は廿六日朝銀翼を連ねて大同方面に出動、大同驛を猛烈に爆撃多大の損害を與へ、一方宣化、新保安、沙城より平綏線西北方山地に逃走中の中央軍、山西軍に對し盛んに空爆を加へつゝあり、敵の損害甚大の見込

電業に大嵐
重役陣總退却
後任社長に丁鑑修氏 副社長に山崎元幹氏

來る九月廿五日の定期總會において改選となる滿洲電業重役後任顔觸れは各方面より注目されてゐるが、確聞するに吉田、入江現正副社長は勇退し、その後任として前實業部大臣丁鑑修氏を社長に、前滿鐵理事山崎元幹氏を副社長に推すに内定せる模樣である、而して現在の重役陣は十七名の多數を擁してゐるが、これを機會に十名以内に縮少、現重役中二、三名を除き他は正副社長と運命を共にして勇退する模樣である【寫眞は上丁氏、下山崎氏】

丁氏語る

電業社長に内定の前實業部大臣丁鑑修氏を煕光路の自宅に訪へば、流石に嬉しそうに愛想よく

未だ正式の話しどころか下話しも聞いてゐない、事實とすれば獻身社業に盡したいと思つてゐます

と語つた

山崎氏の略歴

電業副社長に内定した山崎元幹氏は福岡縣の出身大正五年東京帝國大學法科を卒業し直ちに滿鐵に入社、總務部交渉局第一課に勤務し社長室外事課、文書課等を經て撫順炭鑛庶務課長たり

昭和二年社長室文書課長に榮轉其間歐米に留學歸來累進し舊殼を脱して滿鐵最初の社員より理事に入るの途を開いた非凡の才能家である、昭和十一年十月理事任期滿了と共に挂冠して東京に悠々の生活を送つてゐたなほ同氏の夫人は貴族院議員荒井賢太郎氏の息女で現滿洲國參議府秘書處長荒井靜雄氏とは義兄弟の間柄である

松岡總裁來京

滿鐵總裁松岡洋右氏は關東軍と連絡のため二十七日午後六時二十分着あじあで來京する

關東局人事

【東京國通】關東局財務課長杉村正氏の榮轉に伴ふ人事は廿六日附次の如く發令された

關東局經理課長 大塚喜一
財務課長事務取扱を命ず

英大使遭難事件
外務當局聲明

【東京國通】ヒューゲッセン英大使の遭難事件につき外務省は二十七日午前零時三十分河相情報部長談の形式をもつて左の如き聲明を發した

二十六日午後駐支ヒューゲッセン英大使は自動車にて南京から上海に來る途中、上海より四、五哩の地點で機關銃の掃射により重傷せられたりとの報に接したが右はまことに不幸なる出來事である、ヒューゲッセン大使に對しては外務大臣から川越大使に訓令し、直ちに見舞を申述べしめたが、在上海岡本總領事もデビッドソン英國總領事代理を訪問し見舞を申述べた、わが方においては本事件について目下現地において徹底的に事實を調査中である

海軍省談話

【東京國通】海軍省ではヒューゲッセン英國駐支大使の負傷事件につき左の如き當局談を發表した

駐支英國大使遭難の報に接したが誠にお氣の毒に堪へない、現地方面帝國海軍指揮官は取敢へず英國支那艦隊司令長官に對し見舞の辭を述べ事情を調査中である

日本側から見舞

【東京國通】ヒューゲッセン大使奇禍の報に接し廣田外相は直ちに同大使に對し鄭重な見舞電を發した

【上海廿七日發國通】長谷川第〇艦隊司令長官は廿六日午後八時英國艦隊司令長官リツトル提督を訪問、ヒューゲッセン大使の奇禍に關し深甚なる見舞を述べた

【上海廿六日發國通】ヒューゲッセン大使の負傷事件に關し本田海軍武官は杉山第〇艦隊參謀長と同道して午後五時半英國總領事館を訪問し鄭重なる見舞を述べた

なほ川越大使代理奥村書記官も午後六時半カントリー・ホスピタルに病床の英大使を見舞つた

交戰地區通過中
英大使遭難重傷
無通告、標識も不明瞭から

【上海廿六日發國通】英駐支大使ヒューゲッセン氏は陸軍武官のラボツト・フレーザー經濟顧問ホール・パツチ兩氏を同伴南京より自動車で上海へ向ふ途中道路上で機關銃の掃射を受け、大使は負傷し午後五時カントリー・ホスピタルに入院した、なほ同乘の兩氏は無事であつた【寫眞はヒ大使】

【上海廿七日發國通】ヒューゲッセン英國大使の負傷は胃袋の右下貫通銃創で相當重態である

【上海廿七日發國通】ヒューゲッセン英大使の遭難事件の發生した地域は、一兩日來日支兩軍間に空陸を通じて激烈なる戰鬪が行はれてゐるところであり、わが現地當局では英國大使が南京出發に際して日本側に何等の通告をもなさずして、この最も危險なる交戰地域に入り、しかも大使一行の自動車の標識は極めて不明瞭であつたことは頗る遺憾とするところであるとの意向を抱いてゐる、なほ英國大使一行が交戰地區を通過して上海に入らんとした動機については明かにされてゐないが、戰況に關する支那側の無責任なる虚報を過信した結果と一般に諒解され、この點支那側に重大責任ありとされてゐる

"大使の不用意が不幸の原因"
―英本國は平靜―

【ロンドン廿六日發國通】ヒューゲッセン大使負傷の報は廿六日ロンドン夕刊各紙に大々的に掲載され、頗る注目を惹いてゐるが、ヒューゲッセン大使が不用意にも日支交戰區域を無警告で突破しようとした點に不幸の原因が潜在してゐたといふことは誰もが認めてゐるやうだ

主治醫の發表

【上海廿七日發國通】ヒューゲッセン英大使の容態に關しカントリー・ホスピタルの主治醫は廿七日午前零時半左の如く發表した

英大使の脈搏、體溫ともに良好である、容態の急變は現在のところ豫想されぬ、時間の經過と共に恢復の望みは增加しつゝある、廿七日午前二時頃が最も危險視されるが、同時刻を過ぎても別に容態に急變がなければ生命を取り止めるものと診斷される

人事往來

着京

▲梅津理氏(會社員)二十六日來京ヤマトホテル
▲大屋幾久雄氏(日滿商事)同
▲八田喜三郎氏(同)同
▲森川覺三氏(三菱商事)同
▲崎榮二氏(同)同
▲平賀讓氏(東京帝大教授)同
▲青木保氏(同)同
▲三谷隆信氏(外務省條約局長)同
▲和田忍氏(外務省)同
▲清水行之助氏(延和金鑛)同國都ホテル

その日く

□ 英國は外交折衝を斷念した事態の認識に一歩を進めた證左か

□ 負傷した大使、速かに癒えてその認識とゝもに健全なれと祈らう

□ 若い首相、特に若い人の意見を聞きたいと語る、新鮮な感じがあつていゝ

□ 新邦遍歷、學術協會大會新京に到つて終了、これはこの國の文化への刺戟

□ 特別講演の内容もおのづと時局との關聯深く、學問の貢獻輝かしいことを示す

白い天使 (上映禁止)
林房雄 作 吉田眞里 畫

(七五) 浴室(三)

ぬるま湯にむされて、ぐつたりさなつたからだを、弘子はゆつさ湯槽のふちにおいた。そのさき、ドアの外で老婆のこゑがした。

『旦那樣が、いらつしやいました』

はつさした。

心臟がはげしくなりはじめた。

見えない危險がせまつたさきのやうに……。

心の秘密をみすかされたさきのやうに……。

湯上りの化粧を手早くすまして部屋にかへるさ、スキツチをいれた電氣ストーブの前に田中がにこ/\わらひながら待つてゐた。

――競馬にてもゆくさきの

やうな、はてなゴバン縞の外套をきたまゝで、今日はゆつくりできないさいふやうな顔をして。

雨ははげしくなつて、部屋がくらい。

弘子はスタンドに火をいれた。

青い笠をすかして、金色の光りがなゝめに、弘子の顔をてらしあげた。

『やあ、たいへんきれいだ――湯上がりつて、さうしてこんなにうつくしいのかなあ!』

田中らしいおせじださ思つてみても、そのやうにいはれるさ、さすがにうれしく、思はず下をむいて、につこりさした。

『けふはいゝ話をもつてきたのだよ――さあなんだらう? あてゝみたまへ』

外套もぬがずに、おちつかない風をしてゐるから、これから、すぐに、またどこかのダンス・パーティにでもつれてゆかうといふのだらうさ思つてゐるさ

『旅行だよ、これから二人で旅にでるのだ!……山にはもう雪がきてゐるさいふ。この雨が、山の上では雪なのださうだ。停車場に掲示がでてゐる……湖もすつかり凍つたさうだ……雪の温泉に出かけやうぢやないか? 出來たらスキーもやる……あんたは白樺の木をみたことがあるかい?』

旅行さいはれるさ、弘子の心はすべてをわすれて、をどりはじめた。

旅、旅、旅!

生活のために、都會の裏町にしばりつけられて、みじめなかきのやうに、うごくことを知らないものには、旅は、すべてをわすれさせる誘惑である。

山……

湖……

雪……

すきとほつた空氣……

森の夜明け……

白樺……!

『まあ!』

少女らしい喜びを、顔一ぱいにあらはして、思はずいつてしまつた。

『いゝのね!』

田中は心の中で、ニヤリさわらつた――計畫はみごさ圖にあたつたさ思つたので。

かれは、弘子が、そろ/\自分をうたがひ始めてゐることに氣がついてゐた。

その上、眼の前に果物のやうに熟してゆく弘子の姿をみてゐるさ二年も三年もまつといふ、はじめの計畫をまちきれなくなつた。手つさり早く萬事をかたづけてしまひたくなつた。

たさへば、一しよに踊つてゐるさきなさ、腕にさゝへた弘子のからだから、乳のやうな匂さ、さそふやうな胸のふくらみを感じるさ、血管をあれまはる慾望に自分を制することができなかつた。

昇格校の下打合
廿七日民生部參事官室で
專門學校長連絡會議

民生部教育司では明年一月より實施の新學令の公布を前にして着々と準備を進めてゐるが新學令に依つて大學及び師道高等學校に昇格する各專門學校の具體的打合せのため廿七日午前九時より民生部參事官室に於て專門學校長連絡會議を開催

學校側より山口新京醫校長、樋口高師校長、鈴木高工校長、宇田高農校長、宮澤次長、皆川教育司長、都富參事官、阿部參事官、高尾學務、高松人事、佐校文書各科長出席し

一、新規程に關する件
二、各校學生募集並に入學試驗施行に關する件
三、各校狀況並に新規計畫に關する件

に就き懇談的協議を遂げた

經、民、司對抗 陸上競技大會

經濟部、民生部、司法部の對抗陸上競技大會は廿八日午後二時より西公園グラウンドに於て擧行される事となつた

肉食季節に入り 牛疫對策を强化
保健衞生上から警察廳で 結核檢査と豫防注射

首都警察廳衞生科では市民の保健衞生上近く管內三百頭の牛に對し結核檢査並びにこれが豫防注射を實施することゝなつた、牛の結核は年々相當數に上り、萬一これら結核罹病の牛肉、特に廣く市中に行き亘つてゐる牛乳を飲むときは人體にも肺結核、または腸結核となつて傳染する恐るべきもので、この徹底的檢査によつて結核牛を發見した際は疑似結核のものにはその耳にアルミニーム製四角形の環を嵌め、輕傷は三角形、重症は圓形のものを嵌めてその病狀を分明し、この烙印を押された牛は今後絕對屠殺場入り及び牛乳の販賣を許さないこととなるもので前記三百頭に對する結核豫防注射と同時に結核牛は直ちに撲殺燒却處分に附する筈である

集まつた眞心
新京海友會の慰問品 募集を月末迄延期

新京海友會では上海事件以來中南支に連戰連勝を續けてゐる陸戰隊を慰問するため廣く慰問袋を募つてゐるが事務所にはいたいけな小學兒童の慰問文を添へた慰問袋や女給、ダンサーから贈る古雜誌など眞心籠めた慰問袋が各方面から集り山程積まれてゐる、なほ二十五日まで締切りを延ばした同會では更に延期して今月末まで受付けるから振つて應募されたいと、因先は市內吉野町一丁目光寫眞館內海友會事務所【寫眞は積まれた慰問品】

五班に分れ各地を視察
學術協會一行

日本學術協會第十三回出席者一行は新京大會終了後は左の通り各班に分れてそれぞれ視察旅行を續ける豫定である

△第一班四十名二十九日午前八時二十分發ハルビンへ赴き黑河、北安鎮、チチハルを視た上九月五日奉天で解散

△第二班は都合により旅行中止

△第三班二十名は二十九日午前十時三十五分發吉林行列車で吉林に向ひ圖們で解散

△第四班四十名は二十八日午後十一時四十分發列車で鞍山に向ひ昭和製鋼所を見學の上湯崗子、奉天にそれぞれ一泊、撫順炭、本溪湖煤鑛公司等を視察して九月一日安東で解散の豫定である

△第五班四十名二十九日午前八時二十分發ハルビンに赴きハルビンから船便で佳木斯に向ひ、佳木斯、牡丹江の新興都市を見學し、ハルビン經由で一旦新京に引返し九日五日新京で解散の豫定

學術協會 一行着京

日本學術協會新京大會に出席者一行二百四十名は二十八日午後一時五十五分着列車で來京多數關係者に迎へられて來京一旦割當てられた各旅館には入つた

特別市公署では二十八日正午からヤマトホテルにて日本學術協會員一行の招待宴を張ることとなつた

誠忠の從軍志願
鐵路總局中西君の書狀 關係者を感激さす

空に陸に、皇軍將兵の勇猛果敢な奮戰に國民銃後の熱誠は今や最高潮に達し、特に第二陣の在鄉軍人の中には是非とも戰線に送つて下さいと燃ゆる愛國心を從軍請願書に披瀝する者多數に上り關東軍にも從軍志願書が山積みとなつてゐるが鐵道總局福祉課勤務中西孝君は熱意を示した左の如き志願書を關東軍に届けて關係者を感激せしめてゐる

謹啓北支の事態後斷を許さゞる折柄正義の貫徹と時局京畿の第一線たる部內閣下始め各位益々御精進の御事と唯感謝致居候陳者小生儀本年三月廿日來滿と同時に居留届を提出身は關東軍管下にありと思惟致居候處本日に至るも戰時職務の下令も無之如何樣決定相成居候や調査の上正式下令方御手配相成度候小生昭和十年任官以後の職務十六丁小隊長にて兵站付及十六丁補充隊長の多い豫備役少尉の中に在て更に光榮現役の責務と異ならざるものと勇躍精神の鍛錬と軍事能力增進に勉め且微力乍ら鄉軍役員として盡力なし來り候幸ひ現下北支に派遣さるべき職務有之候へば進んで馳せ參ずべき決心身體も健康何時にても應召出來得べく勿論身命を惜しまず候右不一乍ら正式下令方願上候 敬具

昭和十二年八月廿日
豫備役陸軍輜重兵少尉 中西孝
關東軍動員係佐官殿

肉彈白襷隊進擊
見よ……三四八高地に日章旗
激戰を物語る平頂山

【坨里村廿六日發國通】記者は廿四日白襷隊と共に坨里村を出發、峨々たる平頂山攻擊戰に參加、雨霰と飛び來る敵彈を潜りつゝ午後七時山頂高く日章旗をひるがへし完全にこの五百米高地を占領するまで壯烈なる肉彈戰を眼の邊りに見、日露戰史上有名な乃木將軍指揮の二〇三高地占領もかくやと身の引締るを覺えた

この戰鬪の前夜廿四日午後七時わが〇〇部隊長は決死の傳令害見義雄上等兵から支那軍大擧襲來の情報を得たのであつた、翌廿五日午前六時〇〇部隊長は愈々天嶮に據つて頑强に抵抗する敵軍に對して總攻擊の命令を下した、命令一下勇躍飛出した白襷の決死隊を先頭に〇〇部隊主力は前面に横はる大石河の敵前渡河を敢行朝霧を衝いて大房山の麓に潮の寄するが如く襲ひかゝつた

敵軍は大房山々腹に構築された堅固な陣地に據つてこゝを先途と猛射を浴せかけ來つたが、勇猛な我が將兵はこれを物ともせず躍進又躍進、遂にドッとばかり敵塹壕に躍りこみ手向ふ敵を銃劍にかけて突きまくり遂に五百米の峻嶺を完全に把握、午後七時半日章旗を掲げたのであつた

記者は占領直後の平頂山頂に登つたが、見れば敵兵は算を亂して山を脱兎の如く轉がりながら山裏の部落に遁走して行くのが手にとるが如く見えた

泥寧膝を没する惡路に憫みながら前線へ徹宵歩みを續けたわれ等に廿三日の黎明が靜かに訪れた、何處かの部落に鷄が鳴いてゐる、靜かな夜明けに、朝霧がかゝつてゐる、琉璃河の上流が氾濫した濁流をまきながら幾筋にも分れて流れてゐる、霧に包まれて美しくみえるこの河二十四日夜陰に乘じ決死の白襷隊を前に一千の將士が續々として渡河、もう大房の連山々麓にぴたりと着いてゐるのだ、この日總攻擊を敢行する平頂山三四八高地の峨々たる山嶺が行手にたちふさがつてゐる、午前六時半わが陣地は眞赤な朝あけの空に號砲を響かせて砲擊を始、砲彈は遠く三四八高地に白煙をあげた平和は一瞬にして破られたのだ

敵もわれに砲擊を開始し始めた、この時東の空遠くわが空軍の爆音が響いた、爆翼に燦たる日章旗を輝かせた〇機は荒鷲の如く三四八高地に襲ひかゝつた、機首を落して再び舞上る、そのあとを追ふやうに黑煙がグンとまき起る、大爆擊だ、わが陣地からも間斷なく猛火をあびせる〇〇部隊に「攻擊前進」の命令が下つた、いよいよ總攻擊開始だわが第一線部隊は大房連山峻嶮平頂山三四八高地にかじりつき攀上り出した、決死の白襷を綾にし銃劍を朝日に輝かせた姿が豆つぶのやうに見える山角を利用しつゝ巧みに登つて行く、〇〇部隊は本部の移動を開始した、部隊長自身琉璃河に身を投じ兩側の兵に守られつゝザブザブと渡河する記者も續いて行くが時々足をすくはれさうだ、敵彈はこの邊まで飛んで來る、眼を轉ずれば平頂山には萬歲の聲が起り日章旗が翩翻とひるがへつてゐた、高地を占領したわが軍はさらに敵を亂して潰走する敵を急迫してゐる

板橋村の戰鬪で 高田部隊長戰死
壯烈鬼神も泣く最期

【北平廿六日發國通】全線に展開する連日の激戰でわが將士の奮戰は眞に目覺ましいものがあるが、中でも廿四日板橋村の戰鬪における〇〇部隊の高田部隊長の戰死は壯烈鬼神も面をそむけしむるものであつた

居庸關の激戰と共にわが〇〇部隊は懷來の敵を攻擊すべく〇〇方面から急進しつゝあつたが、それに對し保定の支那軍は急遽三ヶ師を同方面に迂回せしめたので高田部隊は廿日午前より行動を開始し、廿三日夕刻には〇〇に到着し、同夜更に前進を開始し板橋村に差しかゝるや敵は要害に立籠つて頑强に抵抗したので、高田部隊長は夜襲を敢行し自ら敵陣に斬り込んだこの突擊で敵は百餘の死體を遺棄して潰走しわが部隊は完全に板橋村を占領した

翌廿四日無慮二千の敵兵は突如三方面の山岳より猛擊を開始したので、高田部隊はこれに應戰、激戰三時間におよんだが、この戰鬪で高田部隊長は不幸腹部に貫通銃創を受けた

乃公はどうせ助からぬ身體だ、それより暗號と重要書類を友軍に渡せ

天皇陛下萬歲

と叫んだまゝ遂に絕命した高田隊長は原籍鳥取市、性剛直溫厚の士、劍道四段の眞に典型的な武人である

敵地深く挺進 苦鬪十日の籠城
重圍の中に望樓死守

【居庸關廿六日發國通】南口攻擊に先立ち八行山脈四方山深く分け入つた〇〇部隊は、惡戰を續けつゝ進擊、去る十三日頂上一千三百九十米の望樓に肉迫、白兵戰を演じてこれを占領したが、忽ち敵の重圍に陷りその安否も氣遣はれてゐたが、廿二日午前友軍の〇〇部隊が西南方百十米の頂上の一角を陷れるに及んで悲壯を極めた籠城十日間の模樣が判明した

十三日夜から十重二十重の重圍に陷つた〇〇部隊は、後方と糧食、彈藥の補充全く絕え生米一日一合、堅パン二日に一袋、最後には附近の林檎、馬鈴薯も喰ひ盡し堡壘に溜る雨水で僅かに渴を醫す有樣で數十回の逆襲に對して彈はすべて擊ち盡し最後には石や煉瓦を投げつゝ文字通り望樓を死守した、死傷相踵ぎ兵力の大半を失ひ部隊長自らも負傷すると言ふ八行山脈攻擊戰中最も悲壯な戰鬪であつた

猛然望樓に突入肉彈戰
占領の千百米高地 之に命名す

【南口二十六日發國通】千百米高地の長城線突角望樓に據る敵は要害を頼みに我が〇〇部隊の攻擊に對し頑强に抵抗しつゝあつたが、〇〇部隊の〇〇隊は俄然これに向つて猛攻擊を開始し、廿一日晝間より二十二日朝にかけて敵彈雨飛の中に前後十數回の突擊を敢行、部隊は相當損害を蒙りつけたが、〇〇部隊も右手に敵彈をうけたが、猛然陣頭にたつて望樓に突入し肉彈戰を演じ遂に敵を殲滅、朝風爽かな廿二日午前六時千百米高地の望樓高く日章旗を掲げた、かくて〇〇部隊長は壯烈なる突擊をもつて占領、この千百米高地に出身地の〇〇の名をとつて〇〇山と命名、部隊の武勳を永久に記念することゝなつた

通州殉職警官の追悼會執行
草場部長以下六名 廿八日長春寺で

尼港事件以上の殘虐事件としてわが國民のうらみも盡きぬ通州事變に殉職した大使館警務部外務省巡査草場部長外六名の遺骨は二十八日ハルビン經由で午後二時十分着あじあにて來京、同三時より曙町長春寺に於て嚴肅なる追悼會が營まれることゝなつた

前科大男 居直つて捕る

二十六日午後十一時三十分ごろ特別市新立街十一號某官廳雇員張洪九（三十八）方表戸を破つて年齡四十歲位六尺豐かの怪賊が推參、家內を物色中、物音に眼を覺ました張が大聲で誰何すると件の賊は矢庭に居直つて張に躍りかゝりくんづほぐれつの爭鬪となつたがやがて小柄の張は力盡きて組み敷かれかなはぬと見て大聲で救ひを求めたこの聲に折柄同所附近を巡廻中の大經路警察署范刑事が現場に駈け込み張と協力大格鬪の末逮捕した

浙江省生れ住所不定前科一犯余渭富（四十）と稱し六月以來今日まで十一件の竊盜を自白したが判明した被害額だけでも百五十余圓に上つてゐる

女中の六感 適中
旅館荒し半島人 本音を吐く

去る十二日富士町二丁目新京ホテルに投宿した本籍東京市日本橋區本町二丁目住所奉天市江島八番地川島三郞（二六）と自稱する客の內地人らしからぬ擧動あるを女中かつ子さんが不審を抱き新京署に通絡同署日高刑事が調査したところ半島人であることを喝破したが更に本年五月頃市內の旅館を荒し廻り竊盜犯に着衣人相酷似せるもので被疑者として本署に連行嚴重取調べの結果、本籍朝鮮慶尚北道尙州郡尙州邑、住所不定無職石世鍊（二六）の旨本名を自白し犯罪事實に關しては頑强に口を緘し語らず持て餘してゐたが各旅館に投宿した筆跡の調査により同一なること判明當局の追窮に包み切れず左の犯行を自白した

即ち本年五月以來市內旭ホテル、北滿旅館、豐屋旅館大和旅館に各氏名を詐稱して投宿し隙を伺つて泊り客の室內に侵入現金所持品を竊取、その被害約五百圓に及び全部遊興に費消してゐたものであつた、尙餘罪もある見込みで追窮中である

ライカ寫眞展 頗る好評

新京寫眞材料商組合では滿洲ライカ聯盟後援の下に第二回ライカ全紙寫眞展覽會を廿七八、九の三日間ニッケギャラリー二階に於て開催中であるが特に獨逸ドクトルウオルフパクトルパウマン兩氏の特作八十點はカメラポヂションの新生面を示すものだと頗る好評を博して居る

げてもの展で 堀出しもの

金泰で開催中のゲテモノ展は後荷が貨物輻輳のため二十六日漸く入荷二十七日朝陳列を終つた浮世繪、和本、掛物、外に新古本の特賣で賑つてゐる、げてもの展はなかなか興味がある先日の如きすゝび古ぼけた天神樣の軸を探し出した人が土佐光起とある銘を發見、吃驚仰天再鑑定、印譜落款を引合すやら大騷ぎ、いよいよ本物となると時價數千圓の國寶的のものだ、出所舊桑名藩の某家から出品したものだと傳へられてゐる

半島人青年に 二日間講話會

新京半島人協和青年團は今般團員の精神的訓練思想指導の爲め民會講堂に於いて左の講話を行つてゐる廿六日は「滿洲國精神と協和運動に就いて」田邊首都[illegible]部長「在滿朝鮮人問題に對して」拓務司第二指導科長[illegible]相弼氏廿七日は「興安運動と內鮮人の位置」に就いて治安部顧問松谷中佐尙團員は午後七時迄普校々庭に集合され度く團員以外の傍聽も奮つて出席され度いと

遺骸を尋ね 帝國社長通州へ

新聞報道の任務を帶びて通州に駐在してゐた東京市麴町區內幸町夕刊帝國新聞社特派員渡邊憲氏（三九）は去る七月廿九日の通州事件のため新聞報道陣の花と散つたが鬼畜の如き叛亂保安隊は、同氏の衣類を掠奪後遺骸を何處にか埋めてしまつたゝめ渡邊記者の遺品その他何れも發見されてゐないので、この尊い犧牲となつた渡邊記者の遺骸搜查のため夕刊帝國新聞社長渡邊剛同社會部長渡邊義忠兩氏は通州慘劇現場に遺骸搜查に赴くことゝなり途中廿六日午後六時着あじあで來京し名古屋ホテルに投宿した渡邊社長は左の如く語る

渡邊記者は冀東政府成立以來唯一人の新聞記者として通州に駐在してゐたが、廿九日に殉職して以來各機關にお願して遺骸發見に努めましたが、現在も判明しませんのでその搜査に出掛けるのですが、遺骸が發見されなければせめて遺品だけでも發見したいと思ひます渡邊君は熊本高工の出身で鄉里の熊本市池田町に夫人アイ子さんと遺兒俊男君がゐます十日頃から非常に眞面目な活動家で將來ある人物でしたが今般の殉職に殘念で堪りません

宇佐美理事來京

滿鐵理事宇佐美寬爾氏は二十七日午前七時着列車で來京した、一兩日滯在の豫定

あす（二十八日）

▲大使館警務部員通州殉職者追悼會午後三時、長春寺
▲模型飛行機展覽會、八島小學校
▲ライカ寫眞展、ニッケ二階
▲新京署野犬狩開始
▲新京中學水泳大會、午後一時
▲新京短歌會例會、午後七時 中銀俱樂部
▲大同劇團公演、西廣場滿鐵俱樂部
▲秋季第二次競馬第二日

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇管絃樂（東京）日本放送交響團 ▲八・〇〇箏曲「雨夜の月」（東京）高橋榮清 ▲八・二五浪花節（東京）廣澤虎吉

演藝映畫

映畫配給統制に關し 全滿館主と懇談 映畫協會人員を派遣

滿洲映畫協會は愈々設立され國內常設館への映畫の配給は從來の配給會社の手から離れて協會の統制下に置かれることゝなつた、これがため在滿三十を算する配給會社 特殊關係にあつた館主側は協會の配給統制に對して何等かの大きな不安を抱き動搖の色さへ見え始めたので、協會では館主側の不安と動搖を防ぎ今後の統制方針を明かにするため業務部長山梨稔氏ほか三名を全滿主要都市に派遣し、各地において協會の配給統制の方針について館主側と懇談せしめることゝなり、同氏等一行は廿六日新京發あじあで先づ大連に向つたが、配給統制方針について山梨氏は協會を代表し左の如く語つた

協會が出來たといふので館主が心配してゐると聞いてゐるが、これは大間違ひで寧ろ喜ぶ可きことだと思つてゐる、現在滿洲には日本映畫、洋畫、支那映畫等卅餘の配給會社があつて殆んど自由配給をしてゐたがこれは滿洲國政府として國策上都合の惡いことである、協會は輸入映畫に對しては良いものが安く觀られる方針を執る、また滿人系常設館に對しては勿論、上海映畫であつても良いもので差支へないものは入れる、配給方法はユニットシステムを執るから館主にも選擇權があるのでこの點よく諒解して貰ひたい、協會の擔當者と館主とが相談してプログラムを定めて行くのである、協會が出來たそれ自體が映畫事業にとつては一種の革命であるから興行家にとつても大衆にとつても全然犠牲が無いとはいはれぬが、それは初年度に二割の犠牲があつても三年後には四割の利益を擧げるための犠牲である

衣裳花嫁 けふからの長春座

長春座廿七日よりの番組は左の如く松竹一番線にワーナー作品を配した三本立編成である

▽松竹大船「衣裳花嫁」林房雄の原作に基いて佐々木啓祐の監督する作品で、上原謙、德大寺伸、高杉早苗新入社の槇芙佐子の四人が主要な役割を占め東山光子廣瀬徹、河村黎吉、小林十九二、若水絹子、笠智衆、大山健二、岩田祐吉、奈良眞養等が助演、兄妹二人を養ふためにダンサーとなつて働く美貌の女性を繞つて展げられる愛慾の圖繪、原作は時事新報に連載されたものでシナリオは柳井隆雄が擔當してゐる

▽同京都「お才時雨」美しい女角兵衛獅子を繞つて盲目の兄とその弟との間に起る肉親愛と戀の相剋、北見禮子、若本一郎の外に山路義人、天野双一、廣田昂、千曲里子、尾上榮二郎等が出演、岩田英二の監督作品である

▽ワーナー「踊る三十七年」ディック・ポウエルとジョーン・ブロンデルの共演するミュジカルもの、生命保險會社の勸誘員とレヴューガールの戀物語りをめぐつて歌と踊りが何時ものやうなお膳立で按配される、ロイド・ベーコンの監督作品ヴイクター・ムーア、グレンダ・フアーレル等助演

千兩小判 けふからの銀座キネマ

銀座キネマ廿七日よりの番組は左の如く新興系、フオックス作品を配した三本立編成である

▽寛プロ「千兩小判」寛壽郎十八番ものゝ鞍馬天狗の活躍篇、千兩小判の紛失に端を發して卷起る大劍戟、歌川絹枝、光岡龍三郎、舟波邦之介、野津操、嵐寛童、尾上紋彌等助演、西原孝の監督作品である

▽フオックス「子供の世界」フオックスのテムプルと比肩する小役ジエーン・ウエザース主演のジヨン・ブライルストンの監督作品、孤兒院に收容されてゐる惡戯娘とギヤングの交情を描いたもので笑ひと涙を盛つた八卷、ジエーン、ダウエル、ラルフ・モーガン、ハリー・ケリー助演

▽新興大泉「淨婚記」別項參照

▽▽淨婚記△△ 新興大泉、細田民樹の原作に基いて鈴木重吉の監督する作品、山路ふみ子、江川なほみ、日下部章、清水將夫、菅井一郎、歌川八重子、大井正夫、千田是也淺田健二、新人社の大和玉枝出演、親友と許婚とのいまわしい秘密を知つた女が、一時は絶望のどん底に陷つたが、やがて新しい清い戀愛の設計を建て直すのである、前篇眞砂の卷の封切、銀座キネマ廿七日より

さぼてん

チップ位ケチ〳〵しなさんなと言つては見てもカフエーマンにとつてチップは一面惱みの種でもある▼ところで最近新京カフエー界の潮流に一テーブル或は女給一人につき又は客の數によつてサービス料としてチップを制定する制度が流行しつゝあるものでこの傾向は惱みの種を解消せんとの見地からである▼これについてカフエー松竹のマネヂャーはこのサービス料反對の立場にあるが氣焔を上げて曰く▲サービス料制定は所謂大阪式のやり方だ、わが松竹は從來通りオールサービス式で頑張るがサービスの女給數によつてチップを多くとか、ビール一本のお客から二圓も三圓ものチップを戴く考へなどさらにもたぬ、釣錢だけでも結構だ、然しお客の中にはしんみりと語りたい人もあることさうした場合の處置も充分心得てゐる▼要するに氣輕に家族的に遊べるところでなくてはうそだ—とその心掛は正に必要であらう贊成しとく

雜音

帝都キネマ、メトロ全プロの初日は好調な入り朝十一時の開映で一回濟むのが夕方の四時半といふ長時間興行、暇のある人なら充分に腰を据ゑて堪能出來るであらう▼「踊るアメリカ艦隊」をみる、「踊るブロードウエイ」の方で既にお馴染みの藝人達のためにしつらへられた甚だ豪華なお膳立、エリノア・ボウエル、バディ・エブセン、ブダンス・

暦

舊八月二十三日　土曜日　七月廿八日
土宿　丁亥　大安　平　女宿

●一白の人　一家の安樂を滿喫すべき日なれど病厄注意　申と壬と癸が吉
●二黑の人　內外の融和は萬事に便益を生じ發達すべし　丙と丁と庚が吉
●三碧の人　我意我儘を捨てゝ溫柔なる心掛が專要なり　申と辛と壬が吉
●四綠の人　枯木に花は咲けど永持ちは六ヶ敷き日注意　辛と壬と癸が吉
●五黃の人　大望は堅く戒むべき日一家協力定業に從へ　乙ると丙と丁が吉
●六白の人　靜かに展開を謀るべき日迷を起さば害あり　乙と丁と庚が吉
●七赤の人　煩悶多かるべきも解決を急がば苦勞を增す　乙と丁と丑が吉
●八白の人　努力の功は日頃に倍する利益を收むる吉日　丙と庚と辛が吉
●九紫の人　敬して遠ざけられ諸事首尾全からざるべし　申と辛と癸が吉

電業阜新發電所 來年末迄に完成
總容力六萬二千キロの豫定

かねて計畫中だつた滿洲電業會社阜新發電所の建設については八月一日附をもつて主務官廳に認可申請をなしたが、認可の降り次第二萬五千キロワット發電機二臺（計五萬キロ）の設置に取りかゝり來年末までに完成することゝなつた、しかして近く竣工する同地の滿洲炭鑛自家發電七千キロについては電業同發電所の完成までは滿炭自家用以外には北票、錦縣等へも供給する關係上電力に不足を來すので取敢へず電業會社奉天發電所より五千キロ發電機一臺を阜新に設置、五萬キロ發電設備完成の曉には滿炭の七千キロ施設を買收して總容力六萬二千キロとなす豫定である

帝國燃料會社設立て 政府、財界懇談
各有力者協力援助を言明

【東京國通】帝國燃料株式會社設立問題に關し政府は廿六日午前十一時首相官邸に財界有力者との懇談會を開催、政府側より杉山、米內、賀屋、吉野各相および竹內燃料局長官出席、民間側より鄕、南條、串田、鮎川、森、藤原の各有力者ならびに結城日銀、寶來興銀各總裁その他十八名出席先づ吉野商相より帝燃設立および人造石油製造事業の振興に關し民間側の協力援助を求める旨の挨拶をなし、ついで竹內長官よりその設立の趣旨および要項を說明し、懇談に入り民間側より鄕男が代表として財界をあげて政府に協力すべき旨を言明午後一時半散會した、よつて政府は民間の協力を得て近く帝燃設立委員を銓衡して設立手續を進めることになつた

商品標準化委員會
大連で開催さる

第七回商品標準化委員會は二十四日午後四時より四時間にわたり大連滿鐵社員會館において小林委員長以下各委員等約三十名出席して開催

一、豆粕斤量問題

主として哈市混保品を大連產に比し〇、一瓩（一枚につき）增量する件につき檢討し結局內地業者の諾否を問ふに落着

次に豆油國營檢査問題については

一、規格問題

一、不合格品の輸出許可問題

一、檢査場所の問題

にわたつて各委員の意見多く決定を見るに至らなかつたが規格は原案通りとなるべく、檢査場所は油坊、輸出兩業者の意見を斟酌して適宜な方法が執られることゝならうが、不合格品の輸出問題の解決如何が國營檢査の難關となるもので、理想と實際のフリクションが生じ、從つて國營檢査施行の實效等に統制問題上の示唆がこゝに存するわけである、因に豆油國營檢査問題に關する標準化委員會は再度開催され次第に結論に達するものと見られるが、大連側油坊輸出兩業者は特別研究委員會を開いて右問題につき意見を纒める筈

日支紛爭で
米國の極東向け取引遞減

【ニューヨーク二十五日發國通】日支紛爭の發展につれアメリカの對極東通商關係に及ぼす影響如何は各方面より注目されてゐるが、輸出入業者筋をはじめ銀行界ではアメリカの極東向け取引は既に遞減しつゝありと報じ、左の如く指摘してゐる

上海向け積出はすべて事實上停止され若くはシンガポール向けに變更されたりしてゐる、また銀行方面では支那向け輸出に對する金融を中止したが、これは集金の見込みなしとみられるからである、一方日本向け取引は貿易業者筋の觀測によれば今までのところ支那向け取引程の甚大影響を受けてゐない

一格品代用受渡で 麩檢査問題解決か
—近く阪神麩聯盟會員來滿—

麩輸出檢査問題はその後產地側において數次の協議會の結果、大體一格品代用受渡應諾を前提として內地側の要望に贊同することに決定したと傳へられるが（但し九月一日實施は不可能、麻袋のみ實施）產地側と內地業者は未だ正式交涉をなさず、從つて業者一般の意向がどう動くかは未知數の問題であるが、現下の環境より推測すれば現下に支那麩の輸入が全然杜絕せる今日勢ひ滿洲麩によらねばならぬことは必然のことで、一格品代用問題はあくまで內地側の承諾出來ぬことであるにしても環境がかくの如く變化してゐる以上これを主張し貫くことは考へ物で、從つて若干の紆餘曲折があるにしてもまづ多年の要望である檢査實施の解決をはかるためには一時一格品代用受渡を認め將來時期を見て徐々に解決してゆく方針ではないかと見られ、現に阪神麩聯盟會長直木店主外數名は近く渡滿するが、產地側との直接交涉の後結局右のやうな妥協點に落着くのではないかと觀測される

日本銀行
預金貸出殘高の發表を停止

【東京國通】日本銀行では廿六日から全國支店における預金貸出殘高の發表を停止した右は日銀の信用擴張政策に對する措置とみられる

今次事變費補塡の 臨時增稅內容
—一般への影響は輕微—

日支事變費を補塡するための日支事件臨時增稅法は原案通り特別議會を通過して愈よ實施されることゝなつた、同課稅の概要を摘記すると（一）臨時所得稅の增徵—本年春の臨時增徵分をも含めた所得稅額に對し第一種一割、第二種（國債を除く）五分、第三種七分五厘、（二）臨時利得稅の增徵—臨時利得稅額の一割五分（三）配當金特別稅—配當年率七分を超える配當金額の一割、（四）公社債利子特別稅—國債は利率年四分、地方債及び社債は利率年四分五厘を超える利子額の一割、（五）物品特別稅の賦課—價格の二割、但第一種（貴石、半貴石、眞珠貴金屬又は此等を用ひたる製品、鼈甲製品、珊瑚製品）は小賣に際し、また第二種（寫眞機、同引伸機、映寫機、同部分品及附屬品、寫眞乾板、フイルム及感光紙、蓄音機及同部分品、蓄音機用レコード樂器及び同部分品）は輸入業者の引取の際又は製造業者の手から離れる時に課稅するものである、本年春臨時增徵法に基いて相當の增稅が斷行された直後であるため今次の增稅は財界にかなり大きな衝動を與へたやうであるが仔細に內容を檢討するとその影響は案外輕微だとしてよい、課稅の中心は前記の如く所得に置かれ、消費稅その他間接稅の負擔を殆んど伴はぬやうに留意されてゐる、物品特別稅は明らかに消費稅であるがそれは所謂贅澤品を對象とするのであつて一般大衆の生活には殆んど影響がないと見るべきであらう、また稅率も必ずしも高率でない、それは稅收入がさして巨額でないことにも現れてゐる、大藏省の豫定してゐる增收額を見ると所得稅に於いて四千萬圓、收益配當特別稅に於いて三千九百萬圓、臨時利得稅に於いて一千百萬圓、その他は一千萬圓未滿に止まつてゐる、かくして增收稅額は一億二百萬圓足らずに過ぎない、增稅額が必ずしも高額でないことは馬場氏の立案した增稅案と對照すれば一層明瞭である、馬場案によれば增稅總額は四億六千百萬圓に上つたのに對し今回のそれは春の增稅額を加へても三億九千四百萬圓でなほこれに及ばないのである、事變は今後いかなる進展を見せるか豫斷を許さない、事件特別稅は原則的には今年度限りといふことになつてゐるが俄かに撤廢することは困難かも知れない、或ひは更に再增稅を餘儀なくされるかも知れない

非常時海運政策に 民間業者協力
—近く聯合大會を開催—

【東京國通】遞信省では來るべき臨時議會に臨時船舶管理法案を提出、配船、運賃、積載貨物等全面に亘る戰時統制を實施することになつたが、民間海運業者においても政府の政策に呼應し、自主的協力を行ふことゝなり、廿八日工業俱樂部で船主協會、海運集會所、海運自治聯盟等海運關係各團體の聯合大會を開催することになつたが、この機會に配船、運賃の自主的統制を建前とする海運自治聯盟を中心としこれを更に改組擴大して全國の船主、オペレーターを包括せしむべしとの意見が有力となつたので、目下遞信省管船當局ならびに民間側との間に諸般の準備を進めつゝある

經濟市場も
公社債回復す

【ニューヨーク廿五日發國通】ニューヨーク公社債市場における日本公社債は本日に至つて何れも回復、社債の一部を除く外は一弗乃至二弗高を示した

ドイツの 滿洲大豆輸入額

駐滿獨逸通商代表部發表によれば七月中に獨逸が滿洲國より輸入せる大豆は四〇、五三五瓲、四、六四八、〇〇〇ライヒスマルクで、一月以降七月までの累計は三三〇、五六五瓲三四、六〇四、〇〇〇ライヒスマルクに達してゐる

日本公社債
倫敦で急反撥

【ロンドン廿五日發國通】極東情勢の逼迫につれ一時軟調を示したロンドン公社債市場における日本公債は、本日に至り急反撥を演じ、一方社債類も東京市電氣五分利附を除き何れも回復、大引相場は各二分の一ポイント乃至五ポイント半高を告げた

長期抗日に堪へぬ 支那の經濟界
外國資本への依存性多大

北支事變の勃發によつて惹起された日支間の全面的衝突は最早不可避の情勢となつた、抗日救國を旗印として民族的統一國家完成を急いだ支那は今や自繩自縛、非常な窮地に陷つた、然るに國民大衆國民政府要路者の中には自國の

經濟力

を過信ゲリラ戰術による長期抗日戰略を採用すれば日本は其の財政的負擔に堪へず自ら敗北するものと見てゐる、國民大衆をして斯くの如く過信せしめた原因は何處にあるか、それは民國二十四年（一九三五年）十一月に斷行された幣制改革である、だが一方から見れば幣制改革の成功は支那經濟の實力を表現するものでなく却つて支那經濟の外國依存性、其の弱を表現するものと云はなければならない、元來支那の國家財政は民國革命後殆ど恒久的歲入不足の狀態に在る、民國十七年北伐完成して

支那の

天下は國民政府に歸したが國家財政の不良狀態は內亂、天災、人禍、財政機關財政制度の不備等のために年々歲入不足の狀態である、歲出に於いて最も多額を占むるのは軍務費、次いで債務費で兩者の合計額は年々歲出總額の七〇%乃至八〇%を占めてゐる、茲に支那財政の痼疾があり其の不安は容易に除き難い對外貿易に於ても民國二十年以後急減し、二十四年には輸入は二十年の五九%、輸出は五九、三%に激減してゐる、其の

原因は

海外不況の深化と支那自體の經濟窮乏による、二十五年には稍回復を見せてゐるが依然として巨額の入超を示してゐる、而して貿易內譯を民國二十五年の實績に就いて見るに輸入は製造品四八・二%、原料及半製品二五・二%、食料品及煙草一三・九%、其他十二・七%の順で輸出は原料及半製品六一・六%、食料品及煙草二一・九%、製造品一三・〇%其他三・五%となつてゐる、右の貿易構成が語るやうに工業は極めて其の發達が幼稚で僅かに紡績工業に見るべきものがある程度で金融組織の不備、交通の不發達經營技術の未熟等の爲めに近代的大規模工業は不振で最近に至り商埠地で卷煙草、燐寸纖維、ゴム製品、靴等の製品工業が

勃興を

見つゝあるに過ぎない

列國の對支投資に就いては說明する迄もない、支那の鐵道、海運、航空、石炭鑛業等の產業の根幹的部分は外資に依存してゐる、更に金融の如きも支那側關係銀行は漸く整備を見んとして居るが外國銀行が依然として實權を有して居り外國銀行の協力支援を俟つて初めて爲替の維持、從つて幣制改革の成果を維持し得る狀態である、斯く考察して見ると

將來も

外資の輸入海外の協力無くしては經濟の發展を期し得られない實情である、今日變態的外資輸入下に育成されつゝある支那經濟が長期抗日に堪へ得ると考へるのは妄想で既に危險信號は各方面に露呈されてゐるといはねばなるまい

商況欄
（九月二十七日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊 六磅一九志七片〇〇
紐育金塊 三五弗〇〇
同銀塊 四四仙四分三
倫敦銀塊 一九片八分三
同先限 一九片八分五
孟買銀塊 五一留比〇〇
スチール株 一一三弗四分〇
アナコンダ株 五六弗〇〇

▲市俄古小麥
九月限 一弗〇六仙四分三
十二月限 一弗〇八仙二分一
一月限 一弗〇一仙八分七

▲紐育棉花
現物 九仙七三
十月限 九仙四八
十二月限 九仙五二
一月限 九仙五六
三月限 九仙六五
五月限 九仙七五
七月限 九仙八〇

▲印棉
ブローチ 一九二留比

▲カルカッタ麻袋
オームラ 一七四留比
ベンゴール 一四五留比

▲外國爲替
英米爲替 四弗九六仙一〇
米日爲替 二九仙〇八
英日爲替 一志二片〇〇
米支爲替 三〇仙二五
英支爲替 一志二片八分一
印日爲替 七七留比二分五
青筋 二四留比六分九
鐵筋 二一留比〇〇

▲阪神日米爲替
賣 二九弗八分一
買 二九弗〇〇

▲阪神日英爲替
賣 二九弗八分一
買 二九弗〇〇

▲滿洲中銀爲替
上海向 賣 一志二片〇〇
買 一志二片三分一
九五弗五〇仙

各地株式市況

▲東京株式（短期）
▲大阪株式（短期）
▲大連株式（短期）
▲奉天株式（短期）

[illegible]

各地商品市況

▲大阪棉糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹

[illegible]

各地特產市況

▲新京
▲大連

[illegible]

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三三二〇　營業局專用（3）三三〇五
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

長城完全に我軍の手中に歸す

正に世界戰史上空前　長城の嶮僅かに旬日で陷落

【天津廿七日發國通】長城は蔣介石が難攻不落を誇り中央軍の精鋭五ケ師を配してわが軍の徹底的擊滅を企圖しただけに其頑强なる抵抗ぶり周到なる陣地の構築及び軍隊の裝備には驚くべきものがある、兵の訓練猛烈を極め重輕機銃はチエッコ製の優秀なものわれより數倍し、彼が十八番を誇る迫擊砲又その數知れず、遺憾なくその特長を發揮し、しかも山岳戰に於ては防禦は强く攻擊の至難は贅言を要しない所であるが何分の一の劣勢をもつてしながら一をもつて百に當る精鋭無比のわが軍は無理押しに攻略しさしもの難關も〇〇部隊は二週間、〇〇部隊の如きは八日間をもつてこれを突破占據するの記錄的戰勝を示したが、世界戰史上これより華々しき快捷ぶりはいまだかつてないであらう

お、長城に日章旗飜る　壯烈！山口山の肉彈戰

【天津廿七日發國通】「孤立無援の〇〇枝隊を急援せよ」十九日正午命令下つた〇〇部隊は白羊城方面より豪雨のため增水し河と化した谷間に胸を沒する濁つた急流をついて進擊、不眠不休〇〇枝隊の駐在地一千三百九十高地の山の中腹に到着したが、早くもそれと知つた敵は猛擊を開始しこゝにおいて廿一日拂曉を期し〇〇部隊の主力は山口山敵陣地の攻擊に移つた、同部隊は勿論殲滅の覺悟であつた、午前十時峻嶮なる岩山を僅かな草木を頼りに漸くにして山頂に到達したが、附近一帶は嚴重な塹壕が築かれ敵は手榴彈、機關銃の猛射を浴びせてくる、この時わが〇〇陣地から殘つてゐた數發の砲彈を山頂めがけて砲擊、これが見事に命中し〇〇部隊の前方僅か二百米の敵陣地に炸裂、敵の狼狽してゐる光景がありありと見える、この時とばかりわが決死の精鋭が〇〇部隊長は部下將士を率ゐ敵陣めがけて突入、軍刀をふりかざし兵は銃劍で捨身の彈丸である、約一時間に亘り壯烈なる肉彈戰が展開され敵を斬り殪して正午過ぎ山頂に萬歲を叫んだ、此戰鬪で〇〇隊の大本大尉は重傷を負ふ、續いて廿三日午前二時を期して泉見習士官は僅か五十名を指揮し夜襲を敢行したのであつた、泉部隊の掩護に赴いた松尾大尉は別の望樓に拔刀して勇ましく斬りこみ敵數名を斬り殪したまゝ壯烈な戰死を遂げ長城戰の華と散つた、中里、藤井兩大尉も重傷を負ふた、突入に突入を重ね更に敵を急追、重傷の體を引きずり谷間の水を飲んだまゝ戰死をとげてゐる者もあつた、敵の死體累々として悽慘を極め、かくて廿三日長城を占據確保するに至つたのであつた、ついで〇〇部隊も望樓六個所を占據し廿四日より懷來平地の攻擊に移つたのである

陸軍先發隊の戰死傷者

【上海廿七日發國通】軍報道部發表＝陸軍先發隊の戰死傷者將校左の如し

▲〇〇部隊

戰死　少佐矢住政之、少尉姉谷（不詳）

負傷　大佐高森孝、少佐伊藤次作、大尉酒井政義、中尉小島太郎、同深尾繁雄、主計少尉小池治賢、步兵少尉谷木三郎、軍醫中尉田中信吾、少尉池田（不詳）同和田繁元

▲〇〇部隊

戰死　大尉深谷豐三郎、同石丸十八、中尉武田類愬治大尉村瀨孫一

負傷　少佐古西秀次、大尉松原鍋次郎、同芝田孝次、同伊藤良男、少尉長谷川次郎、同成瀨孝次郎

關東軍作戰部隊奮戰　支那軍の殲滅近し

【張北廿七日發國通】關東軍作戰各部隊の勇猛果敢なる攻擊に一たまりもなく平綏線沿線深く追込まれた南京軍は廿三日夜來張家口附近において活潑なる活動をなし

一、廿三日夜來張家口南方地區より孔家庄に亘る一帶において劉汝明軍第百四十三師の二ケ旅は執拗に反擊

一、廿四日張家口西南方高地の敵軍の頑强なる抵抗あり

一、廿四日夜來張家口南方八角臺において敵主力の襲擊あり

一、廿四日夜傅作義軍の四箇列車の來襲ありその都度莫大な損害を蒙つて擊退されてゐる

これは察哈爾方面侵入の支那軍が關東軍の猛擊にその背後を衝かれ南口方面からは〇〇兩部隊の强壓をうけ將に退路を絕たれんとする危機に陷り總退却に先立ち支那軍の常に行ふ戰法たる逆襲を行つてゐるものであつて、わが軍の豫期せるところであるからわが軍は敵の逆襲を邀へて散々にこれを擊破するとゝもに敵の退路遮斷に備へてゐるから暴虐な支那軍の殲滅もいよいよ目睫の間に迫つて來た、

二十五日第一線を視察し二十六日夕刻張北に歸來した和泉副官の談によれば

廿日以來連日連夜休む遑なく奮戰してゐる將兵の樣は自ら頭の下がるのを覺える臨時備員たる自動車の運轉手の皇軍勇士と異ることなき奮鬪ぶりには一同感激してゐる

三八二高地に突擊開始

【〇〇廿七日發國通至急報】〇〇部隊は午後四時十分前方高地に向け突擊を敢行、三八二高地の陷落は目睫に迫れり

【〇〇廿七日發國通】わが飛行機〇機は午後四時半地上部隊の砲擊と呼應して一齊に爆擊を敢行、三八二高地及び北方南觀村一帶各所は火災を起し、目下盛んに黑煙上りつゝあり

辛房の敵を擊破　潰走兵追擊

【〇〇廿七日發國通】桑峪村を占據せる〇〇部隊はさらに辛房の敵を擊破、廿七日午前九時三百九十五高地の鞍部に到達目下潰走する敵を急追中

雨中敵の虛を空襲！

馬廠、王家口兵營を爆破す

【北平廿七日發國通】廿六日午後三時頃わが空軍〇〇、〇〇、〇〇部隊の〇〇機は全力をあげ折柄の雨を衝いて津浦線の馬廠の上空に現はれ、〇〇、〇〇部隊の〇〇機は廿九軍敗殘兵約三萬をもつて編成せる第一線部隊の兵營を完膚なきまでに爆擊、一方〇〇部隊の〇〇機は高射砲の射擊を蒙りながらも勇敢に王家口兵營を爆擊した、日本空軍の威力を知る敵もまさか雨中に飛來するとは思はず兵營內は油斷してゐた際とて周章狼狽その極に達し死傷算なき模樣

先頭部隊懷來平地到着

【天津廿七日發國通】二十七日午前十時駐屯軍司令部發表＝二十六日午後一時三十分八達嶺を占據、同夕刻先頭部隊は懷來平地に入れり

北車營南側高地を占領す

【天津廿七日發國通】廿七日午後二時支那駐屯軍司令部發表＝平漢線方面のわが〇〇部隊は廿五日朝以來の攻擊により良鄉西北約三里北車營南側西方五百メートルの高地およびその南側高地を占領せり、右戰鬪の結果わが軍の損害戰死廿名（內將校二名、准尉一名）戰傷八十名の見込、敵兵力は步兵約五千、騎兵五、六百にして死傷尠くとも五、六百を下らず

八達嶺を陷れ延慶に進擊

【岔道城廿七日發國通】居庸關の猛擊にひるんだ敵兵は天嶮の八達嶺を捨てゝ二十六日午前三時より九時までの間に算をみだして潰走、八達嶺、岔道城附近に遺棄したもの列車三輛、白米約五百石、繃帶千五百人分、砲彈無數、なほ中隊長より旅長に宛てた退却願まで捨てゝ逃げるといふ狼狽振りである

【岔道城廿七日發國通】〇〇部隊主力は廿六日午前六時八達嶺を突破北方約二キロの察哈爾省の岔道城を占據、更に前進した〇〇〇部隊は廿七日早朝より延慶方面の敵を掃蕩すべく進擊を開始した、なほ〇〇部隊本部は廿六日夜上關に進み廿七日拂曉岔道城に向つた、皇軍獨特の進擊はすこぶる果敢である

軍需品滿載の敵貨物列車爆擊

【天津廿七日發國通】わが空軍〇機は廿七日午前十一時頃平漢線琉璃河驛附近において折柄軍需品を滿載して停車中の貨物列車二列車に對し爆擊、二列車とも火災を起した

わが陸軍右翼部隊進擊

敵の第二陣を突破す

【上海廿七日發國通】わが陸軍右翼部隊は所定の地點〇〇より本早朝行動を開始し水田中にて激烈なる白兵戰を演じつゝ遂に敵の第二陣を突破、〇〇を占領した、敵主力部隊は第二陣の敗退と同時に西方に向け續々後退を開始した

水田の中で猛烈な戰ひ　松原大尉語る

【上海廿七日發國通】廿七日早曉敵の第二線を突破し名譽の負傷をした〇〇部隊〇〇隊長松原鍋次郎大尉は語る

廿七日早朝〇〇から行動を開始し敵の第二線の大部隊と水田中で猛烈に戰つた、敵も天晴れ三米の前方まで進んで來たのでわが將士は小癪なとばかり軍刀、拳銃で突擊見事これを擊退し遂に〇〇附近を占據した、わが將士は士氣軒昂勇躍敵を追擊中である

石丸大尉戰死

【上海廿七日發國通】所定地點確保後さらに前進中の右翼〇〇部隊〇〇隊長石丸十八大尉は廿七日〇〇附近にて敵の大部隊と遭遇敢然軍刀を揮つて敵陣に斬りこみ多數の敵をなぎ倒したが、自身も身に數彈を受けて壯烈な戰死を遂げた、同大尉は佐賀縣の出身である

敵砲兵陣地を砲擊

【上海廿七日發國通】〇〇鎭にある敵の野砲陣地はわが部隊の上陸以來連日にわたり間斷なく砲擊を加へ、わが進擊を阻止しつゝあつたが、廿六日夜わが上陸部隊は〇〇江上の艦船部隊と協力猛烈なる銃火、砲火を浴びせこれに大なる損害を與へた

日夜わが方は〇〇鎭の敵野砲陣地に砲擊を加へこれに多大の損害を與へたが、同時にわが部隊ノ隊は〇〇〇方面の敵野砲陣地に猛烈な砲火を浴びせ遂に敵野砲五門の內二門を完全に破壞しこれを沈默せしめた

上陸後の戰死傷者

【上海廿七日發國通】軍報道部發表＝廿三日上陸戰開始以來各方面において生じたる戰死傷者の內廿六日までに判明せるもの左の如し

△戰死　〇〇方面においては下阪少佐以下十二名、〇〇方面において矢住少佐以下五十三名

△戰傷　各方面を合して將校以下三十五、六名

軍においてはこれら戰死傷者を取りあへず上海虹口に上陸せしめ、戰死者はこれを茶毘に附し西本願寺に安置した、戰傷者は海軍陸戰隊病院および居留民有志の設備による急設療養所に收容せしめたが、收容力不充分なるため廿四日取りあへず信陽丸で將校以下廿三名は佐世保海軍病院に後送せり

わが空軍南京を夜襲

憲兵團、兵工廠を爆擊

【東京國通】海軍省副官談午後四時發表＝わが〇航空部隊は二十七日南京を空襲し、その〇機をもつて午前一時半頃憲兵團を爆擊し、又他の〇機をもつて午前四時頃兵工廠その他の軍事施設を爆擊し、それぞれ多大の損害を與へ數ケ所に火災を起さしめたり、南京市內は夜半警報數次にわたる空襲のため大混亂に陷りたる模樣なり、本空襲においてわが軍は一機を失へり

本省より訓令到着

青島居留民悲壯な引揚

【青島廿七日發國通】全居留民引揚げに關する本省の訓令は廿六日深更到着、大鷹總領事は廿七日午前九時臨時緊急民會を召集、參事會員、民會議員等參集、その席上大鷹總領事より本省の訓令に基き時局の發展にともなひ當初の現地保護主義を一變して帝國政府の新方針を體し、且つは不祥事の突發に備へ全居留民引揚げ決行のやむなきに至つた事情を說明した、これに對し參事會員側も國策がかく決定せる以上潔く全居留民の引揚げを決行する旨悲壯な決意を表明し散會した、かくて居留民は二十四年間苦心經營の地盤を遺留、市內外及び膠濟沿線に投下せる三億の資本を支那官憲の保護に一任し、血涙をのんで引揚げることゝなつた

支那當局財產保護確約

【青島廿七日發國通】青島引揚後における邦人財產保護に關して廿六日以來大鷹總領事と沈鴻烈市長及び市政府當局との間に交涉が進められてゐたが、廿七日朝に至り兩者の間に完全なる諒解が成立し、支那側は全責任をもつて邦人財產保護にあたることを確約した

下村司令官聲明

【青島廿七日發國通】下村司令官は二十七日午前十一時居留民引揚げに關し左の如く聲明を發表した

この度青島居留民諸君は全部引揚げて貰ふことに國策は決定された、まことに急激な變化であつて粒々辛苦幾十年の地盤を有する居留民諸君の心情は實に察するに餘りがある、しかしながら青島最近の情勢は何等かの動きがあれば直ちに猛烈な市街戰となり、居留民の生命も甚しく危險にさらされる虞れがある、素より帝國海軍において青島居留民保護のため凡有る即應の施設を整へ不慮の事態に備へてゐるのであるが、抑々この度の日支事變は抗日侮日及び赤化人士に對しての膺懲であつて支那全國民に對する戰爭ではない、從つて右天津、上海方面において〔…〕の分子を掃蕩せば比較的穩健な山東特に青島においては事前に日支の友誼を恢復することが出來ることと期せられるも、帝國が從來の行きがかりを一擲して日支紛爭を速かに解決し、且つ最も安全に諸君の生命保護する見地から〔この〕斷乎たる手段を決めたものであることを諒解され、當面の困惑不自由を忍び暫く引揚げられんことを切望する

ヒ大使負傷事件に　英政府愼重態度

國際的紛糾を避く

【ロンドン廿六日發國通】イーデン外相以下英政府首腦部はヒューゲッセン大使負傷事件に關して刻々入電する情報を基礎に對策考慮中であるが極めて愼重なる態度を持し廿六日夕刻中間的にコンミュニケを發表した以外、今後の方針については言明を避けてゐる、消息通の意見によればイーデン外相は一應現地調査の完了を俟ち日本政府へ抗議を提出するものと見られるが如何なる形式で抗議するかは判然しない、英政府に達した情報によれば事件の原因は日本軍飛行機の射擊にあるとしてゐるが、事件の複雜な性質に鑑み責任の究明には一入愼重を期してゐる樣子で、英政府としては事件を國際的紛糾に擴大することは努めて避ける意向といはれる

リ長官、日本側の見舞に釋然

【上海廿七日發國通】長谷川司令長官は廿七日午前九時イギリス旗艦ダレー號に長官リットル提督を訪問、廿六日のヒュ・ゲッセン氏の奇禍に對して鄭重な見舞の辭を述べたとし、日本側の見舞に對し極めて釋然たるものがあつた

これに對しリットル提督は日本側の鄭重なる見舞を謝し大使の負傷は全く交戰區域こと豫め通報することなく自動車を乘入れた爲で自らの不注意により起つたところである

政府は更に詳報到着次第日本政府に對して適宜の處置を取ることにならう

容態は良好

【上海廿七日發國通】カントリー・ホスピタル午前八時卅分發表

ヒューゲッセン大使は廿六日夜は安眠をとるを得ず甚だしく苦痛を訴へた、今朝の容態は體溫、脈膊ともに異常なく、苦痛を訴へるも氣分良好にして極めて滿足すべき狀態にある

一般輿論も緩和

【ロンドン廿七日發國通】ヒューゲッセン駐支大使負傷事件は一時全英國民に非常なショックを與へ、政府、一般輿論共に聊か興奮の色を見せたが、廿六日夜に至つて著しく緩和されて來た、すなはち日本軍が故意に大使を狙擊したものではなく、これはあくまで一つの事故であるといふことが一般に明確に認められたこと今一つは日本側が率直に釋明したといふ點が一般の空氣を緩和するに役立つたものとみられる、廿七日附の新聞も殆んど全部全然過失であつたことを充分認むべきであることを力說し、一部には交戰地帶を平時同樣に通過せんとしたヒューゲッセン大使の輕卒を戒めてゐる新聞さへある、なほ政府筋でも大體日本側に他意なく單なるアクシデントであつた點は充分認め日本側の釋明を諒としてこの問題はこれ以上紛糾さるべきではないといふに大體今のところ意見は傾きつゝあるものと解せられる

英政府コムミユニケ發表

【ロンドン廿六日發國通】英國政府は廿六日午後六時半ヒューゲッセン大使の負傷事件につき左のコムミユニケを發表した

英國政府はヒューゲッセン駐支大使負傷の報道を接受した、英國政府に達したる報道によれば、ヒューゲッセン大使は英國々旗を揭げた自動車で疾驅中廿六日午後二時半頃日本軍飛行機二機のため機關銃の掃射を受けた、大使は重傷で直ちに上海の病院に收容された、

高田少佐戰死

【天津廿七日發國通】廿七日午前七時軍當局發表＝步兵少佐高山志道は廿四日板橋村附近の戰鬪において壯烈なる戰死をとげたり

人事往來

▲馬場隆軍氏（住友電線）二十七日來京中央ホテル
▲藤岡壽氏（東拓）同
▲吉竹博愛氏（會社員）同
▲帆足長藏氏（同）同
▲鹽入松三郎氏（官吏）同都ホテル
▲上野誠一氏（會社員）同
▲堀內信之助氏（司法省）同

傳聲

〔…〕勤後七回に亘る我が勇猛果敢なる海軍航空部隊の空襲に色を失ひ▼地下に潛んでゐた南京の蔣介石は上海に上陸したが精鋭の强襲による自國軍の潰滅に耐り兼ねたか勇を鼓し▼のこ〳〵地下から這ひ出で三軍を指揮して上海にて一大決戰を行はんと南下する模樣である▼蔣將軍如何に心は矢猛にはやれども去る十四日以來我が航空部隊に爆擊された飛行機は約百十機▼擊墜されしもの六十六機空軍の大半々失つてゐる陸兵の死傷又算なく支那軍の士氣全く沮喪せるを如何せんやだ▼偶さか動いてゐる裝甲車の中にはズロース、香水、婦人靴やエロ寫眞が充塡されてゐるのでは其士氣の程も推して知るべしだ▼いづれそのうちに到るところお手のものゝ掠奪が始まるであらうが可愛想なのは無辜の百姓達だ

社說

國共妥協のその後

一

支那に於ける國民黨と共產黨との妥協が、その後いかに進展してゐるかはなほ注目すべき問題たるを失はぬ。傳へられるところによれば、陝西北部に於いては顧祝同と周恩來、朱德とが數回交涉を重ねた結果、國共妥協問題は一層具體的となり、更に周恩來が南京、上海に赴いて連絡交涉に當つて後は問題は實行に着手されるに至つたとの事である。即ち共產軍改編問題は今や既に終了し、朱德、毛澤東兩軍は合して六個師に改編され、王兆相軍は高桂滋軍に編入されたが、軍隊の編制は中央軍と同樣であつて直接中央軍事委員會の指揮を受け、改編後には各師に中央より任命せる副師長各一名を置き、各師は依然として陝西北部に駐屯することになつたといふ。

二

政治問題に就いては、中國ソウエート政府は既に正式に取消されて陝北特別區政府と改められ、これも直接南京國民政府行政院に隷屬することになつたが、地方に於ける權力は依然として大であつて、未だ從前の赤色政府の本色は減少してゐないといふ。しかし三民主義は直接に陝北特別區に流入し、現在中國國民黨は西安に黨務訓練所を設置し紅軍の全幹部は右訓練所において訓練を受け、三民主義を遵奉しなければならないことになつてゐるといふのだが、既に共產主義の洗禮を受けてゐるであらう彼等にとつてこの效果はどれ程のものであらうか、疑ひ無きを得ない。陝西北部に於いて、救亡といふ空氣が非常に濃厚で、このため延安に救國大會が設立されまた西北青年救國聯合會代表大會が開催されて今後の救亡工作方針を決定したといふ如き、注視される事實である。

三

共產黨は西安事變解決以來中央政府の取締は受けないやうになつた。國民政府の法規上の承認は得て居らず、各地に於いて公然と組織する事は出來ぬとしても、その暗躍が行はれてゐるに違ひないことは想像出來る。例の人民戰線派領袖の釋放とその活動、日本に亡命してゐた郭沫若の歸國、また陳獨秀の出獄等もこのやうな情勢と關聯して意味深く觀察されるところである。共產黨は與へられた新しい條件を自己勢力擴大のために利用せずにはゐないであらう。なほ、國民黨の中に在つても〇・〇團の如きは依然として共產黨を仇敵視し、同團、改組派、何應欽等は一致して共產黨反對の態度を取つてゐるといふ。これは今後に問題を殘すものとして特に注意さるべきところであらう。非常時局の壓力下に國共妥協は再び成つたのであるが、その妥協は今後いかなる成果を生むか支那國內の問題ながら對外問題も生ずべく注意を要する。

第二回司法考試

合格率二〇パーセント

日本における司法科高等試驗に比すべき滿洲國第二回司法考試の筆記試驗は去る十三日より三日間大經路小學校において施行されたが、受驗者は日本人六十名、滿洲人二百六十二名で同試驗の合格者は九月七日頃發表の豫定であるが難關口述試驗を控へて果して合格の榮冠を戴く者は何人であらうか？これを昨年度に徵すれば筆記試驗合格者は日本人二十四名中六名（內四名口述試驗合格）滿洲人二百四十五名中四十五名（內二十一名口述試驗合格）であり、合格率は二〇パーセントに過ぎず相當の難關である、さらに書記官（裁判所書記）及び執行官（執達官）考試の第一回考試はすでに去る五月行はれたが第二回考試は來る十月十六、十七日の兩日奉天哈爾濱（以上滿人）及び吉林（日滿人）において行はれる豫定であるなほ本年度司法考試筆記試驗の問題は左の如くである（十三日）

△組織法 一、司法權の獨立を論ず二、國務總理大臣の性質を論じ各部大臣との關係を明かにすべし

△民法 一、生命權侵害に基く損害賠償請求權を論ず二、地上權及び貸借權の本質を述べその效果の差異を說明すべし

△刑法 一、刑法第十條を說明せよ二、僞造、變造、虛僞記載の意義を明かにせよ

△商法 一、株式の償却につき說明すべし二、手形裏書の種類及びその效力につき說明すべし

（十五日）

△民事訴訟法 一、續審主義を論ず二、次の語を說明せよ1立證責任、2期日

△刑事訴訟法 一、令狀の種類を擧げてこれを說明すべし二、辯論を更新すべき場合を擧げてその理由を說明すべし

△國際公法（選擇科目）一、滿洲國家の自衞權を論ず二、滿洲國領海內に在る歐米諸國の船舶內に發生したる犯罪を滿洲國司法官憲は如何に處置すべきか

△國際私法（選擇科目）一、物權の得喪變更を目的とする法律行爲の準據法を問ふ二、外國人甲男乙女間に婚姻の成立、不成立に關する訴訟が滿洲國法院に提起せられたり、わが法院は如何なる法則により審理判決すべきか

△經濟（選擇科目）一、統制經濟の本義を論ず二、左の各項を簡單に說明すべし1自由港2グレシヤムの法則

關東州重要產業統制令公布さる

重要產業廿一種目の生產に 廿七日勅令第四六〇號で

滿洲國政府では過般重要產業統制法を公布し重要產業廿一種目の生產に關し統制を行つてゐるが、產業の統制は關東州も同一にする必要あり關東州廳は便宜的に行政的指導によつて統制を行つて來たが、更に完全なる處置として滿洲國の統制法と同樣の趣旨による統制令を勅令をもつて關東州に公布することゝなり法文が廿四日の閣議を通過したので二十七日勅令第四百六十號を以て公布した、統制品目に就ては關東州の特殊事情により滿洲國のそれと多少の相違あり計器製造業、製鹽業、火藥業を特に關東州の統制品目に加へたのは滿洲國においては他の方法による統制が行はれてゐるためであり、炭鑛、麻製造、麥酒、製糖、パルプの各業を省いたのは關東州においてその生產が豫想されないからである、なほ本令の施行期日は別に局令をもつて定められる筈である

廿七日公布の關東州重要產業統制令全文左の如し

關東州重要產業統制令
（勅令第四百六十號）

第一條 本令は關東州における重要なる產業を統制し以て其の健全なる發達を圖り經濟の圓滑なる伸展を期することを目的とす

第二條 本令の適用を受くる重要なる產業の種類は左に揭ぐるものとす

製鋼業、アルミニウム製錬業、マグネシウム製錬業、自動車製造業、航空機製造業、兵器製造業、計器製造業、綿糸布紡織業、麻紡織業、毛織物製造業、小麥粉製造業、植物性油類製造業、石油製造業、無水アルコール製造業、セメント製造業、製鹽業、ソーダ製造業硫酸アンモニア製造業、火藥類製造業、マッチ製造業煙草製造業、前項の重要なる產業の範圍に關し必要なる事項は滿洲國駐箚特命全權大使之を定む

第三條 重要なる產業を營まんとするものは大使の定むるところにより其の許可を受くべし

第四條 重要なる產業を營む者左の各號の一に該當する行爲を爲さんとするときは大使の定むるところにより其の許可を受くべし

一、統制協定の締結または變更
二、生產の設備または能力の變更
三、事業の全部または一部の讓渡
四、法人の合併

第五條 重要なる產業を營む者は大使の定むるところにより事業年度每に事業の計畫及び實績を大使に屆出づべし、事業の計畫を變更したるときもまた同じ

第六條 重要なる產業を營む者左の各號の一に該當する行爲を爲したるときは遲滯なく其の旨を大使に屆出づべし

一、統制協定の廢止
二、事業の全部または一部の廢止または休止
三、法人の解散

第七條 大使は重要なる產業を營む者に對し其の業務に關し監督上必要なる命令を爲すことを得

第八條 大使監督上必要ありと認むるときは當該官吏をして重要なる產業を營む者の事務所、營業所、工場、倉庫其の他の場所に臨檢し業務若は財產の狀況または帳簿書類其の他の物件を檢查せしむることを得、此の場合においては其の身分を示す證票を携帶せしむべし

第九條 大使は統制上支障なしと認めたるときは其の定むるところにより重要なる產業を營む者に對し第四條及び第五條の規定による義務の一部を免除することを得

第十條 重要なる產業を營む者本令若は本令に基きて發する命令または之に基きて爲す處分に違反したるときは大使は其の業務を停止し制限しまたは第三條の許可を取消すことを得

第十一條 大使は本令に規定したる其の職權の一部を命令を以て關東州廳長官に委任することを得

附則—本令施行の期日は大使之を定む

本令施行の際現に重要なる產業を營む者は本令により許可を受けたるものと看做す

本令施行の際現に締結せられたる統制協定あるときは第四條の規定に拘らず本令施行の日より三十日內に大使の許可を受くべし

統制令公布に當り 關東局聲明を發表

關東州重要產業統制令公布に當り關東局は總長談の形式を以て左の如き聲明を發表した

本日勅令第四六〇號を以て關東州重要產業統制令の公布を見るに至つたが本令制定の趣旨を要約すれば、滿洲國政府が曩に制定實施した重要產業統制法に步調を合せ關東州に於ても重要產業を統制してその健全なる發達伸展を圖り、日滿產業統制方策の運用に協力せんとするに外ならないのである、即ち滿洲國は建國以來產業政策上統制主義を確立採用し產業統制に關する一般的乃至特別的諸法規を制定施行し產業經濟の合理的成生發展を期しつゝあるを以て產業經濟上滿洲國と最も緊密なる關係に在る我が關東州に在りても管內重要產業の保護發達の爲自ら之と同一步調を執り所要の統制を加へざるべからざる情勢に立至つたのである、從來關東州に在つては便宜行政的措置により各種重要產業の統制監督に當つて來つたが運用上支障多く業界に與へし不利不便も尠からず固より長く斯る便宜の措置に放置するを許すべきでないので茲に管內重要產業統制の內容を明かにし企業活動上明確なる指標を與ふべく本令が制定公布せられた次第である、本令は主として滿洲國重要產業統制法を參酌して制定せられたものであるが重要產業の種類に關しては關東州の特殊事情を考慮して本令第二條において製鋼業外廿業種を指定せられたものである、而して右指定企業の新設增設は凡て許可を要することゝし之等企業經營に對する監督命令の態度を明かにし管內重要產業統制に關し依るべき規範を成文したのである

要之本制度の樹立は關東州產業政策上劃期的意義を有するものであるが滿洲現下の情勢において特に重要と認められたる各種產業に對し法的根據に依る合理的統制を加へ當該企業の秩序ある發達伸展を圖らんとするの趣旨に外ならない、本令公布に當り本制度に關する一般の理解協力を切に要望し之が運用の圓滑を期待して已まない

關東州北支事件特別稅令 廿七日公布實施

關東州北支事件特別稅令は廿四日の閣議を通過、上奏御裁可を經て廿七日勅令第四百五十八號をもつて公布即日實施された

關東州北支事件特別稅令

朕關東州北支事件特別稅令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十二年八月廿六日

內閣總理大臣

勅令第四百五十八號

兵を背に、盲目の伍長 本隊に死の傳令

危急の我部隊を救ふ

平頂山戰の美談

【〇〇廿六日發國通】平頂山山上の〇〇部隊が二十三日拂曉十數倍の敵を擊退しつゝ本隊に送つた傳令こそ同隊長の壯烈なる勇戰にもまして悲壯極まりなきものであつた、折柄の敵は千に近く味方は一兵もゆるがせに出來ぬ小人數、苦鬪の最中に自ら進んで敵の重圍を切拔け生還の望みなき傳令の役を引受けたのは手榴彈の破片を受けて盲目となつた〇〇伍長と右脚に貫通銃創左手に破片銃創を受け步行も叶はぬ〇〇一等兵だつた、盲目となつた伍長はこの一等兵を背負ひ一等兵は途を敎へつゝ敵の重圍を破り本部に歸るのだ「右側に石がある」と背中の一等兵が指圖すれば背負つた盲目の伍長は兩眼から淋漓と滴る血も拭はず木の根、岩角につまづきながら峻嶮を降り平地に辿りつく間も敵彈は頻りに落下する、その中を今度は琉璃河の濁流を渡らなければならない、負傷の二人はよろめき乍らもどうにか渡步出來たがすぐ夜明けだ、晝間は步けぬので日暮れを待つて又悲壯な二人三脚を續け廿四日の夕方遂に〇〇部隊に到着し、部隊長の前に傷の痛みを耐へて直立

〇〇部隊長殿は………

と報告するや否や重任を果した喜びと、滿身の痛手に堪へかねその場にどつと倒れてしまつたが、並居る將兵達もこの豪氣果敢な傳令の姿に眼をうるました

食糧はつき 彈も擊盡した

石、煉瓦を投げて望樓を死守 悲壯・八行山脈進擊

【居庸關廿六日發國通】南口攻擊に先立ち八行山脈西方山深く分け入つた〇〇部隊は、惡戰を續けつゝ進擊、去る十三日頂上一千三百九十米の望樓に肉薄、白兵戰を演じてこれを占領したが、忽ち敵の重圍に陷りその安否も氣遣はれてゐたが、廿二日午前友軍の〇〇部隊が西南方百十米の頂上の一角を陷れるに及んで悲壯を極めた籠城十日間の模樣が判明した、十三日夜から十重二十重の重圍に陷つた〇〇部隊は、後方と糧食、彈藥の補充全く絕え米一日一合、堅パン二日に一袋、最後には附近の林檎、馬鈴薯も喰ひ盡し堡壘に溜る雨水で僅かに渴を醫す有樣で數十回の逆襲に對しては彈はすべて擊ち盡し最後には石や煉瓦を投げつゝ文字通り望樓を死守した、死傷相踵ぎ兵力の大半を失ひ部隊長自らも負傷すると言ふ八行山嶺攻擊戰中最も悲壯な戰鬪であつた

佛婦人宣敎師を

鬼畜支那軍の手から救ふ

皇軍に民衆感激

【北平廿六日發國通】暴行、掠奪などその暴虐枚擧に遑なき支那兵に比し嚴肅な軍規の下に行動しつゝある皇軍に對しては支那民衆をはじめ外國居留民等は隨喜の淚をもつて迎へ、皇軍の進むところ日章旗を打ち振つて歡迎せぬ者とてはない有樣であるが、その好個の事例として去る廿二日靜海に在つた支那軍はわが軍の攻擊に耐へかね潰走する際民家の目ぼしいものは全部掠奪した上、國際信義等眼中にない彼等は同地のフランス・カトリック敎會に亂入しフランス婦人宣敎師を拉致し散々暴行を加へた、ために同女師は極度の恐怖に戰いてゐたがその直後皇軍の入城によつて救助され今は安全に保護されて感謝の淚にくれてをり附近住民も今更ながらわが國の嚴肅な軍規の前に一同感激してゐる

太平洋越え慰問袋來る

在米同胞の銃後の護り 益々旺盛なる昨今

【橫濱國通】北米オレゴン州ポートサイド市に在住する福岡縣出身の邦人達は日支事變勃發と共に太平洋を越えて傳はる皇軍の奮戰振りに感激、銃後の護りをなすことも出來ないので慰問袋百十三個をまとめ廿五日夕刻橫濱へ入港した山下汽船加州丸の機關長鶴原嘉郎氏に依託して來たが、同機關長は次の如く語つた

太平洋を越えた慰問品はこれがトップでせう、在米邦人間には事變以來素晴しい後援熱が起り目下各地で慰問袋、獻金の募集を旺んにやつてゐますから今後はドシドシ到着するでせう

冀東地區內に安全農村建設

朝鮮總督府で計畫

【京城國通】北支の治安恢復と共に在留朝鮮人に對する生業指導のため冀東地區內に安全農村の建設計畫は總督府外務部において立案中のところこれが經費は財務局において查定の結果補助金三萬五千圓を計上臨時會議に提出することゝなつた、みぎ冀東安全農村の經營については鮮滿拓殖に委任せしむる案もあるが、北支現地側の意向では資本金五百萬圓（三分一拂込）の新會社を創設して今後の發展に備ふべしとする案が有力である

大同學院生徒の 農村實態調查出發

大同學院第一部第八期生および第二部第六期生二百餘名は十ヶ班に分れ一週間の豫定をもつて廿五日午前八時滿洲農村の實態調查のため夫々目的地に向け出發した、各班の目的地は左の如くである

一班 雙陽縣范家屯
二班 同 大營子屯
三班 農安縣杜々屯
四班 伊通縣達子營屯
五班 農安縣三寶屯
六班 九臺縣吳家居屯
七班 德惠縣金家屯
八班 同 大屯
九班 九臺縣小楊木林子
十班 伊通縣東尖山子、同甲前屯

大連滿洲石油 工場出火

【大連國通】廿六日午後四時廿分頃大連市甘井子滿洲石油會社工場の揮發油タンクより出火警察官、軍隊市內各消防署出動鎭火に努めた結果午後七時十五分漸く鎭火した、原因はタンクのマンホールを開いた際その上にあつて作業中の硫酸複製所の火がタンクに引火したもので、タンクは全部燒失、被害總額は約二萬圓である

在外邦人の 愛國熱

慰問金殺到

【ロスアンゼルス廿五日發國通】日支時局の進展に伴ひカリフォルニア州在留同胞の愛國熱は白熱化し、ロスアンゼルス日本人會募集の銃後國防義捐金は廿五日一萬弗を突破するに至つた、その他南カリフォルニア中央日本人會の義捐金募集に對しても各地から應募申込が殺到の有樣である又婦人會聯盟は來る卅一日サンフランシスコ出帆の秩父丸で慰問袋第二回分約五千個を送る筈である

日米對抗 陸上競技

【東京國通】日米水上競技に引續き日米對抗陸上競技がいよいよ廿八、九の兩日神宮競技場で擧行されることゝなつたが、東京オリンピック大會準備第一年のわが陸上界に與へられた最大の試練として、その成果は大いに期待されてゐる

今回の日米競技は得點爭ひよりも各競技每の戰ひに多大の興味を呼んでをり、殊に本大會の白眉たる棒高跳におけるセフトン、メドウス對大江、安達の對戰は世界陸上界の注目の的となつてゐる

故杉山伍長等 告別式

九月八日執行

去る七月二十九日〇〇の戰鬪にて壯烈なる戰死を遂げた故陸軍輜重兵伍長杉山勇氏以下七名及び同月二十五日〇〇陸軍病院にて病歿した故陸軍輜重兵上等兵河部弘氏の告別式は九月八日午後三時三十分から新京米山部隊で莊嚴に執行される

首相の演說草案

【東京國通】政府は來月三日召集される臨時議會において近衞首相、廣田外相、杉山陸相、米內海相、賀屋藏相よりそれぞれ時局に關する演說をなし政府の對時局方針を明示する筈であるが、近衞首相の演說草案は卅一日の閣議に附議決定する方針で、準備を進めてゐる

中銀週報

八月十五日より廿一日に至る一週間の中央銀行貨幣發行平均額左の如し

貨幣發行額 一九四、二六四、二七〇圓
紙幣 一七三、三九五、八九九圓
準備 一三五、九六八、〇六六圓
保證 三七、四三四、八三三圓
鑄貨 二〇、八六九、四四〇圓

新京神社 集金助手

新京神社ではさきに集金人に吉榮次郎氏を雇つて供進金の募集に市內を廻らせてゐるが更に柳原梅雄氏（三四）を集金助手として同樣集金に廻らせることになつた、兩氏とも直徑四分程の社紋付マークを胸部につけてゐるから注意されたいと

商況欄

（八月二十七日）後場

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	—	—
豆新	一八、六〇	—
東新	一三三、一〇	—
滿鐵新	三三、〇〇	—
同新	四一、八〇	—
日產新	六五、三〇	—
鐘新	二〇六、八〇	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一〇、九〇	—
東新	一三三、〇〇	—
日產新	六五、三〇	—
鐘新	二〇五、〇〇	—
五品新	一四、三〇	—
豆新	—	—
滿鐵新	三三、八〇	—
同新	—	—
電甲	—	—
滿毛	—	—
日畜	六一、〇〇	—

手形交換高（廿七日）

三七枚 二九六、六六二、九六

鮮魚小賣相場（八月廿七日）

品名	最高	最低
活鯛	二一〇	一二〇
氷鯛	五一	三三
中小鯛	九六	一〇
コロ鯛	…	…
チヌ鯛	…	…
連子鯛	…	…
イセエビ	八五	…
車エビ	…	…
白サエビ	…	…
小エビ	六〇	三三
小スマ	…	…
小アジ	五二	…
中アジ	…	…
ブリ	…	…
ヤズ	…	…
ヒラス	六〇	四三
マナ	…	…
サワラ	…	…
マス	…	…
スズキ	四〇	二八
ニベ	二九	二六
アジ	…	…
サバ	一八	一六
赤ムツ	…	…
ギザミ	…	…
アコウ	…	…
メバル	…	…
アブラメ	…	…
ボラ	…	…
タコ	二九	…
甲イカ	四〇	…
ヒラメ	二八	…
カレイ	一七	一〇
小シイラ	…	…
グチ	一〇	一〇
小市	…	…
イワシ	三〇	二七
ハゲ	…	…
ボーボー	…	…
メナガシラ	…	…
コノシロ	二五	二一
コチ	…	…
連長	二七	二二
オコゼ	…	…
シイラ	一七	一三
サンマ	二四	…
太刀魚	一四	…
キス	一五	一一
サヨリ	四〇	九〇
アナゴ	…	…
ハゼ	一五	…
フカ	…	…
赤エイ	…	…
アユ	一八〇	一一五
白魚	四六	四〇
ウナギ	一一〇	八〇
ドジョウ	…	…
アワビ	一一〇	四七
貝柱	三〇	二五
貝立身	…	…
赤貝	三〇	…
蜆貝	…	…
ハマグリ	八	五
カニ	一二	五
[illegible]	…	…
鹽サバ	四六	…
冷アジ	三二	二一

（切り身相場）

品名	最高	最低
[illegible]	一一〇	五〇
ヒラス	一一〇	八〇
マス	…	…
サワラ	…	…
スズキ	七五	五五
[illegible]	六〇	五〇
ヒラメ	三八	二〇
水蛸	…	…
フカ	…	…
赤エイ	…	…

家庭

婦人協和會服完成す

滿洲帝國々防婦女會本部ではかねて滿洲婦人の生活改善のため協和事務服及協和簡易服を作成すべく研究中であつたが、此程スマートな試作品が出來上り近く一般會員の家庭及官廳銀行會社等の職業婦人達のユニホームとしてこれが普及宣傳を行ふ事となつた、此婦人協和事務服は上着、スカート、ブラウスの國防色スリーピースで上着は折襟背廣型背割りの後バンド附でシックなクルミボタン附でスカートは片寄片襞下開き、ブラウスはワイシャツでネクタイなし後ギヤザー入で色は隨意である又簡易服は國婦色ブルーズ型折襟で袖にはゴムテープ入りで絞る樣になつてゐる、兩方共非常に女らしい優美さを持ち全滿婦人は近く此服裝で塗り潰される事とならう協和服上下二二―二六圓、ブラウス四圓五〇錢、事務服は九圓から一一圓である(寫眞向つて左協和婦人服右事務服)

乳兒の育て方…

産婆 山口孝子 (四)

赤ちゃんの手當

睡眠 健康な赤ちゃんはよく眠るものです。生れて間もない頃は哺乳時間以外は夜となく晝となく靜かに眠りつゞけます。生後三ヶ月となつても尚十八時間位は眠るものです。充分な睡眠が子供をすく／＼と健康に成長させるのですから、子供が安らかな眠りの出來る樣に氣を配らなければなりません。赤ちゃんは哺乳時間が規則的で又お乳も充分であれば睡眠の時間も隨て規則的となります。この點からも授乳の時間を規則的にすることは大切であります又母親が抱いて寢ることをせずなるべく一人で寢る癖をつけなければなりません。母親の體の動きなどによつて赤ちゃんの安眠を妨げ、夜中の授乳回數が多くなりそれが癖となつて赤ちゃんは夜分よく睡眠しなくなります。

赤ちゃんが目を覺さない樣にと云つて、爪先で音をたてないで歩く樣なことをしてはなりません。少し位の物音では目をさまさず平氣でねむつてゐると云ふ樣に躾けることが大切です。

早產兒は哺乳の時間が來ても、おむつが濡れても目覺めることなく眠りつゞけることがありますこんな場合は時々目覺めさせ授乳につとめなければなりません

沐浴 沐浴は赤ちゃんの血液循環を盛にし發育を助けますので毎日一回行ふことが必要であります。生後一ヶ月を過ぎましたら普通の風呂でよいのですが、それまでは盥で行ふことがよろしいのですが、授乳後直に沐浴を行ひますと吐乳することがありますから三十分以上經過してからでないといけません。浴湯の溫度は個夏は三十八度、多期は四十度、春秋はその中間位とし高きに失しない樣注意することが必要であります。手早くきれいに洗ふことが必要で、全く洗ひ終るまで七分位を適當とします。盥の汚れた湯で顏や眼を拭かない樣にし頸、腋の下、股間等、皺のある處を特に注意して洗ひます又沐浴に際し赤ちゃんの體を冷さぬ樣注意しなければなりません。

着物 なるべくゆるやかにし形よりも着せよい仕立てにすることが必要であります。毛織物は汗を吸ふ力が弱く又皮膚を刺戟しますので肌着は是非木綿でなければなりません。そして寒くない程度に薄着にすることがよく、厚着の爲めに抵抗力が弱くなり風邪を引き易くなります。赤ちゃんが寒いだらうと云ふ注意はどなたでも行き屆くものですが暑いだらうと云ふ注意は忘れ勝ちとなります。夏は汗を出しますから何回もとりかへてやらなければなりません。

蒲團 蒲團は厚いものはなるべく輕く暖い地質を撰び敷を一枚よりも薄いものを二枚敷いた方がよろしいのです。又掛蒲團も厚く一枚に作らず薄く二枚にして置きますと、暑さ寒さの調節が出來て便利です。

赤ちゃんの枕は低くなければいけません。生れてまもない赤ちゃんの枕は中に綿を入れますのがよいと思ひます。

湯タンポを入れた時は冷えてゐないかを注意すると同時に暑すぎないかを注意しなければなりません。ぽかぽかと暖い位で充分です汗を出してゐる樣でしたら暑くて赤ちゃんがたまらないばかりでなく風邪を引くもとゝなります。

襁褓 おむつはなるべく軟い布を撰び三枚一組として二十組以上の用意か必要であります。常に清潔に注意し、濡れたものを當てゝ置かぬ樣にし、洗濯の際よくすゝぐことが大切であります。一週に一度位過マンガン酸加里をうすく溶いた液につけて水洗ひしますと臭氣のつく樣なことがありません。おむつカバーはゴム製又は防水布製のものは蒸れて皮膚を害し易い缺點がありますから避けなければなりません。本ネル又は毛糸で編だものが理想的です。

居室 赤ちゃんの部屋は、日當りよく空氣の流通佳良にして、清潔なる、靜かな室を理想的とします。常に換氣に注意し、風通しをよくし、夏は涼しく强烈な日光の射入を避けなければなりません。

啼泣 まだ言葉のわからない赤ちゃんにとつては、泣くことは自分の欲望を訴へる唯一の方法で泣き聲によつていろいろの意味を傳へるのでありますから、常に赤ちゃんの泣き方を研究し、何を要求して泣くかを知ることが大切です。

乳兒時代には赤ちゃんが我儘で泣くと云ふことはないのでありまして、赤ちゃんが健康であり、取り扱ひが充分行き屆いてゐれば、不思議な程おとなしく、泣くことも少ないのであります。泣くのは赤ちゃんの持前だときめてかゝらず、むしろ赤ちゃんは泣かないものだと思ひ、泣いたら其の原因をよく調べて適當な扱ひ方をしてやるべきであります。泣く度に乳を與へて默らせることを避け、先づ泣く原因を除くことに注意して頂き度いと思ひます。

體重 乳兒の榮養が適當で發育が順調に進でゐるや否やは、大體體重の増加によつて分るものであります。即ち體重の増して行くことが健康のしるしでありますから體重は時々計つて標準體重表と比べて見る必要があります。

初生兒の體重は生後四日位迄は二〇〇瓦乃至三〇〇瓦程減少し、大抵一週間位で元の體重に復します。これ以後は體重は增加する一方であります。體重の增加の多少によつて榮養方法に何か缺陷があるか否かが考へられますから、體重の增加のあまり少ない時は適當の方法を講じなければなりません。次に標準體重表を記して見ます。勿論之は標準であつて各個人毎に幾分の差異あることは心得て置くべきです。

男兒	體重
初體重	八一六匁
一ヶ月末	一〇六六匁
二ヶ月末	一三八五匁
三ヶ月末	一五九二匁
四ヶ月末	一七七五匁
五ヶ月末	一九三五匁
六ヶ月末	二〇五〇匁
七ヶ月末	二一三五匁
八ヶ月末	二一九二匁
九ヶ月末	二二五〇匁
十ヶ月末	二三二〇匁
十一ヶ月末	二三八〇匁
十二ヶ月末	二四四五匁

女兒	體重
初體重	七八七匁
一ヶ月末	一〇一三匁
二ヶ月末	一三一二匁
三ヶ月末	一五〇〇匁
四ヶ月末	一六四〇匁
五ヶ月末	一七八七匁
六ヶ月末	一八七七匁
七ヶ月末	一九六〇匁
八ヶ月末	二〇三〇匁
九ヶ月末	二一二五匁
十ヶ月末	二二九〇匁
十一ヶ月末	二三五八匁
十二ヶ月末	二三一八匁

便の症狀 便の症狀によつて乳兒の榮養が適當であるかどうかを知ることが出來るのでありますから、いつも便の色、回數、臭氣、硬軟等に注意しなければなりません。生後三日程は胎糞を出しますが、其後は普通の便となります。初め二週間位便通の回數が多いものですが、生後一ヶ月になりますと一日二、三回位となります。人工榮養兒は母乳榮養兒よりも秘結し易いものです。

▲母乳榮養兒の健康便 母乳で育てられてゐる乳兒の便は黃金色で軟くなめらかにして多小の酸臭があります。

▲人工榮養兒の健康便 母乳の場合より少し白味がゝつた淡黃色で臭氣も强く一寸お乳の腐つた樣な臭がします。

色は濃いネズミ
△……今年の最先端は刺し物

秋の流行を截る
中折帽子【2】

◇…「帽子は一番目立つもの」どんな立派な洋服を着、流行のワイシャツ、ネクタイをして居ても、頭をモサラにして壓だらけでは失禮なばかりでなく、何かものたりぬ氣持ちがする。英國の紳士に帽子を被らぬものはない。帽子は禮容を整へるものです。それにも型、色の變遷はあります。

◇…本年も緣は斷然切緣が壓倒して居ります。その廣さも個性を生す樣に丸顏の人は巾廣を面長の人は巾狹を用ひられるのが良く似合ひます。リボンの低いのが新しい傾向で吋3／4位、色は鼠特に濃鼠が多くなつて參りました(三圓―十圓)もつとも茶色の洋服にいくら流行とは言へネズミの帽子はちぐはぐです。洋服オーバーと共色の帽子こそ流行に超然とした奧床しさを感じます。

◇…今年の最尖端は今迄あまり見なかつた刺し物です。服地風のラシヤに緣から山まで圓く刺子の這入つたものでスポーテイブで若い者のみが用ひられる特權です値段も安く二圓半から五圓位迄です。高級品としては世界的有名なボルサリノ(伊太利)ムアース(英國)(十圓―十八圓)ペロアーではペッシエル(チエッコスロバキヤ)フワケル(チエッコスロバキヤ)が代表的人氣です(二十圓―三十五圓)型はツマミ型がやはり一般向きがして喜ばれ中溝を深くするのは流行りません。

◇…又滿洲では協和服との調和から國防色の帽子の現れも必然的要求をシンボライズしたものと思はれます。

マンガ左膳

ソノカゴニ ヨウガアル マテツ！

ミネ、ダンゴダナ、ナニヨウアッテ セッシヤノカゴオ トメラレタ

サツキノ シカヘシダ、キサマノイノチモラッタ カクゴシロ

マンガ左膳 のらくろ君

ツヨソウナヤツダ、ウッカリソバヘハヨレナイ

グズグズシテヰルト キッテシマフゾ イマノウチニ ニゲナイカ

ムシケラドモ サア、カカッテコイ カタナニ チオスハシテヤルゾ

ラヂオドラマ
「事變餘話」女ごころ
多彩な非常時演劇三部曲 けふ愈よ第一夜

後八・四〇(東京)

今回の演劇三夜は現下非常時局を反映し、力强くも事變現地に銃後に日本の國民精神を宣揚しやうとしたものであるそして三夜とも各與つた方面の花形第一人者を中心としてその一は新派劇によるラヂオドラマを池田大伍氏に新作を依賴し「事變餘話女ごころ」と題し花柳章太郎の主演による銃後の女性を描き、その二は當代加藤清正に扮して天下無類といはれる中村吉右衛門が吉田絃二郎氏作の「二條城の清正」によつて忠誠無双英雄の面姿をうつし、その三は昭和十二年代のコメデイの花形古川綠波が佐々木邦氏原作川島順平氏脚色の「非常時のガラマサドン」をラヂオのために新らしく書き卸しガラマサどんの言葉や行ひによつて現下非常時の覺悟を含めて笑ひのうちに何事かうなづかせるものがあらうといふコメデイー、以上三つの各面各樣の演劇を新秋を迎へる非常時の毎夜の電波に送らうとするものである

作並演出 池田大伍
花柳章太郎

(作者の言葉)「演劇三夜」といふので、花柳君ははじめ新派の受持の分を、何かこしらへてくれといふ御註文であつたが、作者の方に差あたつてこれといふ材料がなかつたので放送局の方へ御相談すると亡くなつた顧戸君のものになりさうなものがあるといつてよこしてくれたのが、この材料です、原作は小說で、私は實は脚色といふわけです、それにかういふ花柳界の材料には不馴れで、その上、日がないことゝて甚だ不手際なものが出來上つたやうですが、材料は極めて面白いものだと思ひますし、花柳さんははじめ新派の手練の人達がやつたらきつと立派なものになりませうと、私も實は樂しみにしてゐます

▼…場面は東京某地のある料理屋の帳場、折柄宵の口で人の出入も賑やかだ、帳場の前には御約束できてゐる藝者たちの噂で、土地の新聞の櫻川由孝は軍隊から禁足命令が下るとすぐ頭を刈つて入營の用意をしたことが評判となつて大そう流行つてゐることがわかるところがその由孝がその稼ぐことが、いつか仲間の目に立つて次第に爪はじきされてくる、この由孝と夫婦の約束をした土地の藝者の小玉は日頃の眞ッ正直な潔癖な氣性から第一番にそれをさげすんで、由孝と別れて田舍へいつてしまはうと決心する、その中にも由孝の萬一の身を案じて内々街頭へ立つて毎日千人針を貰ひ、彈丸除けの腹卷をこしらへそれをもつてこゝの女主人のお德へ預けにくる。仔細をきいたお德は小玉をとゞめ丁度座敷へ來合せてゐた由孝を呼び出して逢はせる

▼…小玉に詰られた由孝ははじめて心の内を語るつまりは由孝と夫婦約束をした小玉は稼業が休み同樣になつた上親兄弟もない身の上を案じてせめて當座の用意を殘して置かうためのやりすごしだつたとわかる、それをきいて心の解けた小玉は千人針の腹卷を出してこれが私の心だと由孝に渡す、由孝はありがたいがといつてこれを受けない、自分はたいこ持だ、たゞさへ惰弱におもはれがちなおれだ、せめて素ッ裸かで死にてえといふ、蔭で内々きいてゐたひいき客の内山はじめ一同は思はず泣かされてその場へ出る、折よく丁度出動命令が出て内山の音頭取りで、いさましく軍歌が唱はれ、由孝は出動することとなる、折から外にも送られて行く萬歲の聲が賑んだ

ラヂオ

SYOZO

けふの番組
(M・T・C・Y 新京放送局) 廿八日(土曜日)

××朝××

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇中等滿洲語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七、一五朝の音樂（大連）
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報（大連）
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座 輕いお菓子の作り方 新京錦ヶ丘高女教諭 柳 みどり
一〇、二〇料理獻立（哈爾濱）
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況

××晝××

一一、三五經濟市況（大連・新京）
一一、四〇經濟市況（大連）（東京）
一一、五九時報（東京）
〇、〇五晝の演藝（大連） 琵琶 七盛長 大森彦 酒井旭水
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（東京・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）（大連）
三、四〇經濟市況（東京）

××夜××

四、〇〇ニュース（東京・新京）
四、三〇經濟市況（大連）
五、二〇ニュース（鮮語）
俗謠 盧蓮紅 朴月仙 一、孔明歌 二、寧邊歌 三、ノールリヤン 四、開城難逢歌 五、溪江水打鈴
六、〇〇天然記念物めぐり（二十九）（札幌） 北海道の植物 北大教授理學博士 柄内吉彦
六、三〇子供の時間（東京） うたのおけいこ 柴田秀子 一、蛙の子ども 上田賞作詞 室崎琴月作曲 二、金魚の電話 田部睦夫作詞 森義八郎作曲
六、五〇コドモの新聞（大連）
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇講演 一、電路遮斷器の話 九州帝大總長工學博士 荒川文六 二、日本學術協會第十三回大會を終るに當りて 關東局總長 武部六藏
八、〇〇義太夫（大阪） 戀女房染分手綱（重の井子別之段） 淨瑠璃 竹本伊達太夫 三味線 鶴澤友次郎 —文樂座より—
八、四〇演劇三夜（東京） 花柳章太郎
九、三〇時報・ニュース（東京）外ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇滿語の時間

學藝

秋の影を引く男 (二)

右田卓二

午後三時に授業が終ると私は苦學してゐるHと一緒に玄關の處に立つてゐる學生達の中を眺め廻してゐた。Hと私は飜譯の仕事を半分宛やらうと思つたからであつた。久しくたつて校門をは入つて來る彼の姿が目に付いた彼は私に氣付くとやあーと言つて大樣に兩腕を擴げて見せて近寄つて來た。丸で數年來の舊知に對する樣であり私は當惑した

「あ、これは如何もお待たせしました。三時に終ると言つてもいい加減で良いと思ひましてね、今まで喫茶店で頑張つてゐました。いや二時間余り頑張つて實際退屈しましたね…」

私は此の奇妙な理論に茫然とせねばならなかつた。彼が自分勝手な興味を大げさに壓しつけてゐるのであることを感じた。—それは崩れた人間に良くあることであつた。三時十五分過ぎてゐたので、私達はもう歸らうと言つてゐたのである。

かうして私は彼にHを紹介すると三人で圖書館前の芝生の方に歩いて行つた。然し彼は仲々話を切り出さず、すつかり私にまかせ切つた樣子でゆつくり私達の後からついて來た。私はむつとし、こいつ! と思つたが、此の宿命的に強い男から何時の間にか此の話を處理するやう荷物を負はされてゐることを感じた。すると此の男が私には圖々しく見えて來るのであつた。

私は彼の家が蒲田にあることを思ひ出した。

「あなたは蒲田でしたね。僕もさうですよ」

「へえ! それは〳〵非常に都合が良い!」

私は苦笑した。もう彼は私が仕事を受合つたものと決めて話してゐるのである。實際は私はまだその點について何とも言つてゐなかつたのだ。然し彼がさう言ふともう私は仕事を受合つた氣持になるのであつた。私は彼のために見る〳〵支配されて行く自分の弱さを感じた。彼の心は常に物事を自分に好意的に決めてしまつた心であつた。彼は人間が自己に敵對的である場合を想像することが出來ないのである。

「さうですね、あなたが蒲田ならかうしやうと思ふんですがね」と彼は言ひ始めた。

「現在私は毎日上野圖書館で原稿を書き續けてゐるのですが、出來ただけあなたに學校で會つて渡さうと思つてゐたんです。それならあなたの自宅の方に持つて行くことにしませう。その方がどちらにも都合が良い譯ですからね いや物事がうまく行く時はうまく行くものです…」

そこで私は此の男の格言に微笑して見せた。兎角內容を見てみると言ふことになつて私とHは原稿を半分宛受取つた。

「ぢやお願いします。今から又圖書館の方に行きますから」

「ちよつと」と私は言つた「あの—名刺をいただきたいのですが、まだ名前を知りませんのでね」

彼のズボンのふくらんだ尻がくるりとこちらを向いた。

「あははは! (勿論彼は豪傑笑いの積りであつたらう) うつかりしてゐた譯ですね」

「えゝ」と私は答つた。「そして、住所も知りたいんでね」

笑つてゐる私の前で彼は名刺を出した。

「齋藤勇吉さんですね、どうも有難う」

彼は私達に後を見せて歩いて行つた。少し前かがみになり、くの字になつたズボンをはいて、雨ざらしになつた樣な黑靴の踵のちびたのを後から照る秋の日光の中に曝して

その日私は家に歸り夕食前の時間を潰して原稿を拾ひ讀みしてゐた原稿は江戸時代以後の浮世繪畫家の名前をアルファベット順に並べて夫に傳記と作品名をあげたものであつた。其處にHが本郷から尋ねて來たのである。

「どうしたんだい?」と私は訊ねた。

「君、これは歇自だよ。やゝつこしくて手におへない。それにいくら金をくれるか知れたものぢやない。(彼は原稿をばらりと其處に投出した) 免角君尋ねて行て斷つて來やう」

齋藤の住所は省線と京濱電車とに狹まれた細長い地域の中にあつた。絶え間なく遮斷機が上下して夕暮の滿員電車が走り過ぎる踏切を渡つて、混雜した郊外特有の狹い通りの奥にやつと齋藤の家を探し當てた時はもうすつかり日が暮れてゐた。

「ごめん下さい」と私は格子戸を開けた。

やせた老婆が出て來て其處に黑くうづくまつた。

「どなた樣で?」

「はあ、Sと言ふ者ですが齋藤さんはいらつしやいますか?」

電燈が點いてゐなかつたので私は會へないかも知れないと思つて訊ねたのである。六疊と四疊半の小さい家であつた。

「あ、Sさん!」と言ふ聲が奥から聞えた。同時に電燈がぱつと點いた。私は此の家の中では齋藤の聲が父親らしく落着いてゐることを感じた

「お母さん、大學の學生さんですよ、すぐお上りになる樣に言つて下さい」

私達は母親に一禮すると齋藤の居る部屋に通つた。齋藤は茶ぶ台を前にして四才位の男の子を抱いて坐つてゐた。六疊の部屋には殆ど何もなかつた。床の上に扉付の舊式の本箱があるのみである。—然し部屋には壁の至る處に長方形の紙が張りつけてあり何れにも山水が書いてあつた。

「ほう繪をおやりになるんですね」と私は坐るなり眺め廻した。

「ええ」と彼も得意氣に私の視線を追い、「今ですね、此の邊の子供達に繪を教へてゐるんですよ。勿論道樂ですから金は取りませんがね」

「隨分前からですか?」

「ええ、學生時代からです」

「ほう」と私は言つた。ふと彼にも學生時代と言ふ過去があつたことを知ると私の方がまごついてしまつた。現在の彼からはとても學生時代と言ふものを想像出來ないのであるが、さう言ふ時代があつたと言ふことは何の不思議もない譯である。すると今日學校で會つた時の手の擴げ方や笑ひ聲は學生時代の彼のものであらう。それを中年の今になつても身につけてゐる譯であつた。

其處に彼の母が澁茶を持つて來た。

「大學の學生さん達です。こちらがSさん、あちらがHさん」

さう彼は得意に母の前に紹介した。彼の母親は私達の前にへえつ! へえつ! と二度頭を下げて隣りの部屋に下つた。私は彼が母の前に來客を誇つてゐることを感じた。

—結局Hは原稿を返濟し、齋藤自身が他に協力者を探すことになつた。

立上ると齋藤は玄關までついて來て言つた。

「その人が最近フランスに歸りますのでね、出來るだけ急いでいただきたいのですよ。フランス人ですがね熱心な浮世繪の研究家です。…」

私達は蒲田の驛までの長い道をあちらに曲りこちらに曲りやつとのことで歩いて歸つた。ドブ川の上に橋が掛り物賣りが立つてゐた。橋のたもとに蛇屋があつたりした。そしてやつと驛前の大通りに出た。

「おい、あいつに聞いたら猥書なんか手には入るだらう」とHが言つた。

「ふん!」と私は曖昧に笑つた。

だが私はHが齋藤の中に少しも入らうとせず、全然突ぱなして見てゐることをうらやましく思つた。Hの性格は強いのだ。

バクゲキ

相當な作だが —福田清人「國木田獨歩」—

福田清人の書いた「國木田獨歩」の單行本になつたのを讀んだ。

これはいはゆる傳記文學の一つの型として良い見本たるものであらう。むしろ坦々とした叙述のなかにその人物を生けるが如くに浮び上らすこと、それは相當立派な仕事だと評價されてよい。これまでは主人公とともに激し昂奮したやうな傳記文學が多過ぎたのである。だが福田の「國木田獨歩」—讀了して、もつとこれ以上を望みたい氣も起る。僕は國木田その人についてよく知らないのであるが、この本一册で彼の全部を知り得ない氣がする所、なほ不足した部分があるのではないか。(B・J)

秋と長屋のお神さん (一)

奥一

「男心か秋の空」とペイしられた娘つ子は涙を流し「女心か秋の空」とツデにしられた野郎はホザく。

「おい近頃どうだい」「いや、トント秋風が吹きまくつとる樣なアンバイで……」となると御互シンミリ溜息の一つも出ようと云ふもの、

〃おゝ秋の風よ、いゝ空よ お前は何て綺麗に澄んでまるで彼女の瞳の樣に〃とか何とか廣い世中には秋をサンビしたりする奴もあるにはあるが、それは氣狂ひか、さもなきやそれに近い詩人とか云ふタダヒの人種だけで……

あゝ何と滿洲の秋の風は、あまりにもアワタダしイ多へのフユーネラルマーチで、そして雨はその前奏曲でもある。

×

『ほんまによう降りまんな』

お早う御座ゐますの代りに、通ひの附添婦であるお神さんが小さい風呂敷包みをかゝへてヒョイと隣りに聲をかけたわ、本當に』

『又雨、いやんなつちやうわ、本當に』

大きなお腹をかゝえた隣りのお神さんが、ドアーのガラス戸を開けた。

『おや〳〵奥さん。もうお出かけですか、大變ですわねえ、でもどうせ今日はバスでせう。まあお入んなさい、まだ早いんでせう』

奥で牛の樣に寢てゐるおつさんにあてつけらしく「お出かけですか」に力を入れた。

『早いにや早よおますんやが、そいじや一寸……奥さりまんなあ、私しや又多が來るんや思ふと心細うてな』

滿洲では長屋のお神さんも、山の神も皆一樣に奥さんに昇格する。

『ほんとに私も秋の聲を聞くとゾッとしますよ、昨夜もうちの人と話したんですがね ぼつ〳〵小盜兒市場へ行つてストーブの古いのを買つて來なきやならんてね』

『今買ふと安すおまつさかいな、もう半月もたつたら高こなりまつせ』

『それがあんた、ストーブ所じやない、お米の方が大變でねえ、家の宿六と來ちや、やつと勤め口が見付つたと思つたらすぐ又俺にはあんな仕事は性に合はんとか、月給が安いとかゼイタクばかり云つて止しちやつたりして、毎日〳〵のらりくらりと、酒ばかり飲んでゴロ〳〵してるのはいゝ加減私もいやんなつちやいますよ』

秋が來たと云ふのに、仕事が性に合はん位で止めた譯じやないんだが「又クビだよ」とあつさり云ひ切るには嬶の手前具合が惡いし、「どうもあまりお前が綺麗なもんだから、會社に行つても心配でねえ、それにどうも別れてゐると戀しくて仕方がないから明日から當分家にゐるよ」も、こう御互ひに立つて、カビが生ゑると効がないし、かと云つて「將來の事を考へると一生サラリーマンで朽ちたくない、男と生れたからにや一旗上げて、お前にも樂をさせてやりたいんだ」も失業常習犯になると、妻君の方で親爺の價値は親爺以上によく知つてるんだからスコブル仕末が惡い。

妻君の顔を見、妻君のお腹を見、家の中を見渡すと、何で亭主たるもの酒でも飲まんことにやヤリキレますかッてんだ。

でお神さんのヘソクリを(お神さんも天勝ぢやあるまいし勿論庶民金融機關を極度に利用した金なんだが)チヨロマカして寢巻きであり普段着である たつた一枚きりのヨレ〳〵の浴衣を着て、五錢玉とサイダー瓶をぶらさげて酒舗からパイチユーを買つて來る サイダ瓶半分位のパイチユーをビール瓶にうつして、番茶の出がらを一ぱいに滿して、砂糖を少し入れるとどうにか喉をごまかすに足る酒らしいものになる。ごいつは裏の洋服屋の職人のお神さんが親爺を喜ばせる爲に發明した准日本酒で、カンをすると一升八十錢位の日本酒程度で、毎日銚子に一本づゝ親爺サービスをしても優に五日はある、一日の割當て一錢也、と云ふ譯で傳へ聞いたこゝら界隈ではモツパラこれを愛用してゐる次第である。

假にインにしてチキなる酒ではあるにしても夫を喜ばせる貞女の一念こつた發明品は多くの人々を喜ばせる結果になつたんである。げに發明は世に益する事甚大、實に偉大なるは發明云々と發明局總裁からは表彰されないまでも、長屋の衆からは表彰される價値は十分にある

學藝消息

△士星會第三回洋畫展は來る九月二日より五日間三中井に於て開催の豫定

美容と健康の爲め寢る前にも

ライオン歯磨

美味 滋養 葡萄酒

赤玉ポートワイン

一本で當る

大景品付賣出

應募者全部に 味の素 呈上

■一等(下記のうち一品) 茶箪笥・鋼鐵製重要書類箱・純毛二枚積毛布・お子様用寢台
■二等(下記のうち一品) ボストンバッグ・籐製安樂椅子・机上セット・すき燒セット
■三等(下記のうち一品) 御婦人用晴雨兼用傘・明視電氣スタンド・堺製刄物セット・姫鏡台
■四等(下記のうち一品) 電氣アイロン・お子様用スケート・湯上タオル・ナショナル小型ランタン
■應募者全部に漏れなく「味の素」特小瓶一個宛贈呈 贈呈

■**應募方法** 赤玉ポートワインの包紙のレッテル一枚と口金掩(錫製)の上部一個とを一纏めとしレッテルの裏に住所姓名を御明記の上 左記へ御送りあれ 抽籤券と味の素とを送呈いたします
■御郵送は封書にて廿グラム(約五匁三分)毎に四錢切手御貼附の事 ■應募締切は本月三十一日限り

【應募宛先】 大阪市東區住吉町 壽屋サービス係

洋品と雜貨 赤本洋行
三笠町 電③二二七三 六九三三番

日滿特許商標取扱
有川特許法律事務所
特許訴訟一切

所主
辯護士 辨理士 法學士 桒野四郎
辯護士 辨理士 有川藤吉
辨理士 コンサルチングエンジニア 高梨福雄
新京日本総領事館前 電話園(3)五〇四八番

營業御案内
運送及運送取扱 通關代辨 倉庫及金融 運送及火災保險
荷造及市內運搬 引越荷物 人夫供給 委託販賣

株式會社 國際運輸 新京支店
新京富士町二丁目二十七番地

電話 事務所
代表 ③五〇一六
店長席 庶務 倉庫 輸出 保險 運搬 トラック 出納 金融 經理 駐在參事
二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三五 三二
庶務係直通 ③六八七九

其の他
發送 到着 貨物通關 小荷物通關 日の出町倉庫 荷造 手小荷物 トラック車庫 國薬莊事務所長 專用線 石炭運搬 石炭積卸
③二六六二 ③五八八八 ③三〇五九 ③二四八五 ③二六六五 ③二一九六 ③四六三五 ③六〇四二 ③四一八一 ③二五一〇 ③六八八〇 ③二一九七 ③五三九一 ③二一一五 ③三一三八 ③二九三〇 ③五八八九 ③三七五一

曇後晴! 仕事や勉強で疲れて曇つた頭もノーシンで爽かに晴れます

李鍵公殿下

戰蹟御見學に　きのふ御來京

滿洲戰跡御見學旅行の途にあらせらる李鍵公殿下には御附武官隅騎兵中佐、李王職春田屬を從へさせられ初秋爽涼の廿七日あじあで長途の御旅行にいさゝかの御疲れの御容子もなく陸軍騎兵大尉の御軍裝凛々しく御着京遊ばされた御召車からフオームに降り立たせられた殿下には御出迎への關東軍司令官植田謙吉大將、駐滿海軍部司令官日比野正治中將、伊藤警備司令官、笠原大使館附武官、其他關東軍幕僚、澤田大使館參事官、武部關東局總長、滿洲國張國務總理以下各部大臣、臧參議府議長、田邊同副議長等各參議、星野總務長官、山口滿職代表、在鄕軍人會、國防婦人會、各學校代表、少年團代表等に擧手の禮を賜ひつゝ稻川新京驛長の御先導にて驛貴賓室に御少憩、植田關東軍司令官を始め日滿有資格者三十餘名に謁を賜ひ諸員奉送裡に御宿舍ヤマトホテルに入らせられた【寫眞は驛御着の殿下】

寡兵よく國境確保　朱少將等戰死す

熱河西南國境に支那軍一掃　我國軍の奮戰目覺し

治安部發表＝熱河西南國境附近の事態急迫するや○○枝隊は國境の確保、庶民の安寧を期する目的をもつて急遽○○に向ひ轉進するに決し、○○枝隊長は朱家訓少將の率ゆる○○團を先遣隊として國境線の要點たる○○に向ひ急進せしめたり、同隊は山嶽重疊たる峻嶮を踏破し殺人的酷熱と戰ひつゝ八月十六日午後○○に到達し、敵狀を搜索するに有力なる敵、支那中央軍部隊は我が國境に迫りつゝあるを知り朱少將は敵に先んじ國境線を確保して後續部隊の前進を容易ならしむるに決し、同日夕刻さらに行動を起し夜半を衝いて勇躍國境線に向ひ前進せり、十七日拂曉に國境線に到着し敵狀を警戒中數百の敵が前進中なるを知り斷乎攻撃を開始せり、敵は優勢をたのみて逐次包圍攻撃を開始せるも朱少將は敵狀を看破して適切有效なる部署に據つて部下を督勵し、部下も一致協力して激戰奮鬪中、敵彈は惜しくも朱少將に命中するところとなりわが勇猛なる部隊長は戰死す、爾後戰鬪益々熾烈となるや戰線の將兵又相踵で戰死傷し、遂に二十餘名の戰死傷者を出したるも將兵ます〳〵團結して奮戰激鬪に努め寡兵以て敵に大損害を與へこれを西方に潰走せしめたり、戰場の敵の遺棄せる死體は五十有餘を數ふ、時正に午前九時なり、この激戰に於て我が軍は○○隊長朱少將以下廿餘名の戰死傷者を出すに至りたるも毫も動搖の色なく一意任務の遂行に邁進し、國境線を確保して近く上官及び戰友の弔ひ合戰を決行すべく敵狀を嚴に偵察中なり

ちなみに本戰鬪において壯烈なる戰死をとげた朱少將は牡丹江省（舊濱江省）密山縣の出身にして今年卅八歲、日本陸軍步兵學校を卒業して大同元年三月北滿鐵路護路軍總司令部上校參謀長、康德元年七月第○軍管區司令部などに歷任し、康德二年四月少將に累進し、同六月混成第○○旅長に、同八月第○軍管區第○教導隊長に補せられ今日に至つた人で、人格崇高にして軍事教育家として將來を囑望せられゐたり、なほ朱少將は今回の戰功により八月十七日附をもつて陸軍中將に昇進せしめられたり【寫眞は戰死せる朱少將】

新京倶樂部勝つ

對電々戰・獻金野球（第四日目）

6A—5

獻金野球大會第四日目電々對新京倶樂部戰は二十七日午後四時半より西公園球場に於て片岡（球）栗原、横内（壘）三氏審判のもとに電々の先攻で開始された、試合開始早々電々の第一打者稲田左翼二壘打を放ち氣勢を擧げ鈴木の遊匍失で生還一點先取すれば新京軍その裏で電々岩崎の過失に乘じ一擧三點を獲得し以後兩軍よく打ち混戰を續け拔きつ拔かれつシーソーゲームに觀衆を熱狂せしめたが七回裏新倶に釘貫の三壘打、内山の安打で二點を入れ六對五で勝つた

スコアー

電々	100202000	
新京	30000120A	6A—5

トータル

電々	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	過失
2 稲田	4	1	1	0	0	0	1	0
7 櫻井	5	0	0	0	0	0	0	0
3 鈴木健	5	0	1	0	0	0	0	0
8 村上	5	1	0	0	0	0	0	0
4 小林	5	1	2	0	0	0	0	0
1 永野	4	1	1	0	1	1	1	0
9 仁	4	1	1	0	0	0	0	0
5 岩崎	4	0	2	0	1	0	0	4
6 近藤	4	0	0	0	0	0	0	0
計	40	5	8	0	2	1	2	4

新倶	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	過失
8 川田	4	1	1	0	0	2	1	0
4 小幡	3	2	0	0	0	0	2	2
5 釘貫	3	2	1	0	0	0	1	0
7 内山	4	1	1	0	1	0	0	0
2 石田	4	0	0	0	1	1	0	1
13 高橋	4	0	0	0	0	0	0	1
31 三浦	4	0	0	0	0	1	0	0
6 樽美	4	0	1	0	0	0	0	2
9 鈴木	3	0	1	0	0	1	1	0
計	33	6	5	0	2	5	5	6

三壘打—釘貫　二壘打—稲田

第一回（電）稲田左越二壘打、櫻井三犠、鈴木遊匍失に生き稲田生還小林左前安打、永野二匍▲（新）川田四球、小幡三前バンド三手の低投に生き釘貫四球で滿壘、内山三匍三手の低投で川田、小幡、釘貫生還内山三進、石田三振、高橋遊飛、三浦左飛（電1—新3）

第二回（電）仁中飛、岩崎二匍、近藤中飛▲（新）樽美投匍、鈴木三遊間安打、川田三振、小幡中飛（電0—新0）

第三回（電）稲田中飛、櫻井二匍、鈴木遊飛▲（新）釘貫右飛、内山左飛、石田遊匍（電0—新0）

第四回（電）村上遊匍失、小林左前安打、永野右前安打、村上生還、仁三匍、岩崎三強襲安打、小林生還、近藤投匍に永野三壘に刺され稲田四球に出で滿壘、櫻井二匍▲（新）高橋左飛、三浦三振、樽美中飛（電2—新0）

第五回（電）鈴木遊匍、村上左飛、小林遊匍▲（新）鈴木中飛、川田遊飛、小幡四球、釘貫中飛（電0—新0）

第六回（電）永野四球、仁投前バンド一失に出で岩崎の中前安打に永野、仁生還、打者近藤の時岩崎二盗、近藤三匍、稲田中飛、櫻井二匍▲（新）内山三匍失、高橋中飛、石田三飛、打者樽美の時内山三盗、樽美の右前安打で内山生還、鈴木三振、（電2—新1）

第七回（電）この回新倶高橋と三浦交代す鈴木中飛、村上右飛、小林三匍▲（新）川田三振、小幡四球、釘貫の右中間三壘打で小幡生還内山の左前安打で釘貫生還石田の遊匍・内山二壘に封殺、高橋三匍（電0—新2）

第八回（電）永野三振、仁一二間安打、岩崎右飛、近藤三匍、三手二壘に送球二失で仁二進、稲田の遊匍で近藤二壘に封殺▲（新）三浦一匍、樽美遊匍、鈴木四球、川田左前安打、小幡一匍、（電0—新0）

第九回（電）櫻井右飛、鈴木二遊間安打、村上中飛、小林二匍失、打者永野の時捕失で鈴木小林三、二進永野四球で滿壘、仁二飛、（閉戰六時五分）

ゴーストップに新しい整理規定

來月實施を前にきのふ實地訓練

二十六日治安部令を以て公布九月一日から實施される交通整理規定及び信號方法に關する規定運用に萬全を期すべく首都警察廳では實施を前に二十七日午後三時三十分から交通量頻繁な大同大街康德會館前交叉點で優秀な交通警官數名を選んで新規則に依る交通整理方法の實習を行つた、保安科附渡利警正、則生交通股長以下各科員、長通路、大經路兩署からもそれ〴〵關係署員が多數出動してこの新交通整理方法に面喰ふ交通機關の違反訓練に懸命だ

國都に始めて布かれるゴーストップの訓練—内地の大都會に見ると同樣、整理壇上に起つた警官が始終口にした笛の吹鳴によつて新整理規定による整理動作を起せば一切の交通機關が停止線上にぴたりと停止するかと見れば一方では進行命令動作に從つて今まで停止線上に溢れた諸車がそれッとばかりに一つの流れとなつて進行を始め颯爽と見える

この日の交通警官の一擧一動に一切の交通機關が劃然たる規律を保つて靜、動の行動を起す

如何にもあか拔けした頼もしいこの新整理方法にこれまでの交通事故は大いに緩和されるであらう、一新された警官の整理動作を示すと

一方の交通に對し一般的に「停止」の信號を與へる時は停止しやうとする交通の一方に正面（又は背面）して左手を左方又は右手を右方にして水平に擧げる

「注意」信號を與へるときは左方又は右方より來る交通に對して手を上方に擧げる

「停止」中の交通に對し一般的に進行の信號を與へるときは停止しやうとする交通に向つて手を水平に擧げ上膊を上方に曲げてこれを左右に動かす

と言つたもので同四時四十五分多大の成果を收めて終了した【寫眞は交通警官の訓練振り】

頭道溝郵局窓口　日人增員

新京頭道溝郵局では從來窓口には殆ど全部滿人を配置してゐたので日人利用者のため種々不便を掛けてゐたが去る八月二十日より事務に練達の日人四名を配置し從來の不便を一掃し窓口事務の迅速、正確叮嚀を「モットー」として窓口の强化刷新と明朗化を計ること、なつたから、從來の不便言葉の行違ひ等は今後見られないこと、ならう

少年團航空作品展

けふから八島校開催

滿洲飛行協會新京支部では航空少年團員の航空思想の普及發達を圖るため二十八日から三十日まで三日間（毎日午前九時から午後六時まで）八島小學校講堂で航空少年團飛行機手工品自由畫展覽會を開催することになつた、出陳手工品自由畫は全部航空少年團員の手になりその數約一千五百點に上り優秀作品も尠からず少年の航空思想普及には蓋し最も適切有效なる企てとて各方面の絶讃を浴びてゐる、參觀は一切無料多數市民の來場を歡迎すると

野犬狩りの矢先　狂犬幼女を咬む

日滿警務機關が擧げて野犬狩りを實施の矢先き、二十六日またく城内に狂犬騒ぎがあつた、廿六日午後四時ごろ特別市大經路百八十二號商業董文集（四十）長女喜安（九）が店先き路上で遊んでゐると突然雜種の畜犬が同女に咬みつき左も、三ヶ所に咬傷を負はせ、火のつく樣な泣き聲に父親董が飛び出し狂犬ではないかと直ちに附近の病院で應急手當を施すと共に其旨屆け出た、首都警察廳衛生科から係員が急行該犬を取り押へ鑒診すると果して二十五日發病の狂犬と判明したので直ちに燒却處分した、大經路百八十五號關幸吉氏の畜犬で附近野犬にも傳染の疑ひがあり近く一帶に亘つて徹底的野犬狩りを實施すること、なつた

軟式庭球選手權大會

九月十二日擧行　參加申込みは九月八日まで

新京軟式庭球聯盟主催、第一回全新京軟式庭球選手權大會は來る九月十二日午前九時より西公園コートにて開催さるが同大會には國務總理杯を寄贈さることになつてゐる、之れがため庭球理事會では廿七日午後四時より滿鐵支社會議室に加藤（新京體育聯盟）梅澤（市公署）高橋（關東局）原田（經濟部）岩瀬（滿鐵）尾根山（電業）本間（電々）岡（中銀）の諸氏出席し次の如く細部を決定した

一、期日、九月十二日午前九時
一、資格、在新京庭球同好者に限る
一、申込期日、九月八日迄
一、申込場所、市公署（軟式庭球聯盟苑）
一、抽籤、九日正午市公署にて開催
一、會費、一組金五十錢（但し晝食を呈す）

日本學術大會

特別講演盛況裡に終る

わが學界の最高權威者が時局柄最も適切な演題を提げて蘊蓄を傾ける日本學術協會第十三回大會新京特別講演會は定刻午後三時より西廣場滿鐵社員倶樂部に於て滿場溢るゝ聽衆の拍手に迎へられて開會された、プログラムにより司會者日本學術協會副會長工學博士直木倫太郎氏の開會の辭に始まり我國兵器研究の權威者東京帝大教授青木工學博士『最近の兵器』の演題下に約一時間半に亘り幻燈映寫を以て各種近代兵器の過去、現在、將來の發達並に趨向を懇切に説明し日夜止まるなきこれ等兵器の進步に今更の驚異と感銘を與へ、續いて帝國海軍の造艦計畫の權威者東京帝大工學部長平賀工學博士『軍艦設計と帝國艦艇の進步』の演題の下にわが無敵艦隊の優秀性及無條約時代の帝國の造艦に對する方針を論じて帝國海軍の威容を充分徹底せしめ最後に金屬材料の世界的最高權威者東北帝大總長本多理學博士『普通鋼と特殊鋼』と題して鋼に關する常識を諄々と説き特殊鋼の利用性を諸謔を交へ幾度滿場を爆笑させつゝ論じたが、時間關係で講演を殘し午後七時學術協會の萬歲を三唱して盛會裡に散會した

（寫眞は會場）

後を向いた隙に盗まれる

特別市清和街三十六號小日山カツさんは廿七日午後一時半ごろ新京驛一、二等待合所で一寸後向きした隙にハンドバツク一個を何者かに盗まれた

敷島校の「夏休みを語る會」

敷島高等女學校では來る卅一日午後から「夏休を語る會」を催す

交通會社　けふ株主總會

新京交通會社では二十八日午前十一時から驛前事務所會議室で株主總會を開催、康德四年上半期の決算承認の件、監査役改選の件等の協議を行ふ豫定である

田中主事　日本体協と打合にけふ渡日

大滿洲帝國體育聯盟では治外法權撤廢後附屬地に居る運動競技選手の歸屬に關し豫てより附屬地團體と協議中であつたが大體に於て同聯盟の「根本原則として滿洲國内に居住する選手は滿洲國に屬す」と云ふ持論と一致を見たので愈よ日本體育協會と本格的協議を進めることになり田中主事は廿八日午後九時五十分發列車で東京に赴き各方面に懇談折衝すること、なつた、なほ田中主事は滿洲國于看消、ドルビンアン、フイノゲナフの三選手と共に東京の日米學生交驩競技會、名古屋の日米招待競技會、大阪の日米國際競技會に出席して九月十六日歸京の豫定である

松岡總裁來京

松岡滿鐵總裁は八辻秘書帶同二十七日午後八時四十五分着列車で來京直ちに理事公館に入つた

大井量氏來社

吉林省公署土木科員大井量氏は今回新京特別市公署土木科に轉任廿七日挨拶に來社した

ブレンソーダ

ホルモン注射だ、若返り法だと新聞や雜誌の記事は若年寄連中を喜ばせてゐるが▼新京署高等係の瀬戸、岸兩特務あたりは別にこれ等を試用したのでもあるまいが最近著しく張切つてゐる、ある會席で岸部長が口を切つて「反田さん、今夜は瀬戸君に尾行せんと危いものです」……▼傍に控へてゐた菊地警部補がほうくと伸びた髯をさすりながらくやし相に「瀬戸さんばかりぢやない、このごろ岸さんの發展振りは方々で聞くが若いものに利く藥劑は無いものかな」▼家庭騒動を起さぬやうつけ加へておく

天氣と氣温

けふの天氣　南の風晴後曇雨
日の出　前五時五五分
日の入　後七時二四分
月の出　後九時五一分
月の入　前十一時四六分
きのふの氣温　最高二一度三　最低八度六

義人長七郎

(禁上演映畫化)　中川雨之助　竹枝一郎畫

(二十五)

幻の女 (八)

長七郎主従は、尾けられてゐたことなんぞは更に知りません。

そこでお銀と別れて、あれから観音境内の五重の塔の下を通つて随身門を出て、道を左りへ取つて、山の宿の方へ出ようとする、細い路へかゝりました。路の両側は、ズット寺院の門や土塀が並んで、観世音附近としては珍らしく人通りの少い、いつも木魚や、鉦の音の淋しくひゞいてゐる通りでした。

すると、左り側の妙音院といふ寺の、門の蔭から、主従の前へ、ヒョツコリ姿を現した女がある。

それが、たつたいま別れたばかりのお銀でした。二人は「オヤ？」と、おどろきました。

いまごろはまだ、観音堂の境内に、ぶらついてゐることゝばかり思つてゐた女が、いつの間にか先まはりして、ヒョコリ目の前へ現れたのだから、主従は、けだし驚きさうなことでした。

そのお銀の今度の態度といつたら、さつきの境内の時よりは遥かに丁寧です。

そして、ツカ／＼と長七郎の前へ進んで、いんぎんにお辞儀をしました。

「もし間違ひましたら御免あそばせ。慮外ながら、あなたさまは、松平長七郎さまではござりませぬか」

こゝでも亦た、本家の長七郎よりはお供の家兵衛の方が、目を見張つておどろいて、

「おのれ怪しな女め！」

とグツと睨みつけましたが、もしや、今の巾着切の風体ではなかつたか、といふ疑ひが湧いて来ました。

それは、さうありさうなことです。

しかし長七郎は、至極無頓着なので、

「いかにも、予は長七郎ぢや」

と、鷹揚にうなづきました。

「卒爾ながら、少しお耳に入れ申したい筋がございまして……」

家兵衛は、あわてゝ咎めました。

「コレ／＼、往来のまん中で、失礼なことを申すでない。サア若君おいであそばせ。こんな者に、軽々しくお相手になつてはいけませぬ」

いまの先、印籠を取返した手際といひ、今また軽々しく言葉をかける様子といひ。ずゐぶん胡散臭い上に、油断のならぬ女と、警戒したのです。

大體長七郎、いかに無位無官無禄とはいひながらも、いやしくも駿河大納言忠長公の嫡男といふ高貴の身でありながら、軽々しく市中を遊び廻るなんてことは全然不贊成の家兵衛ですから、こんなことが起ると、尚更主君の身を心配するのでした。

しかし、例のやうに鷹揚な心を持つてゐる長七郎のことです。家兵衛の心配の、百分の一も感じがありません。

只だ、偶然に出會つたこの女が、自分に向つてそも／＼なにを話さうといふのか。と、好奇心が動くばかりでなく。印籠を取返して貰つた、さう冷淡にもできぬものですから。

「はゝう、予に聞かせたい話とはいつたい何事かの？」

と訊ねました。

長七郎は、この時初めて、お銀の顔を、とつくりと目を注いだのでした。そして心の中で「水に濡るる杜若の、御殿さにも似た女だ」

と思ひました。

「でも往来ではどうもね」

と、お銀は言ひました。

「どうすれば宜いか」

と、長七郎が訊ねます。